

秋田大学

大学院医学系研究科・医学部
医学部附属病院

概

2023
令和5年度

要

Akita University
Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine
Akita University Hospital
GUIDE FOR VISITORS
2023



Contents 目次

■沿革 History	06
■組織図 Organizational Chart	14
■職員 Staff	16
①歴代学部長等 Chronological Lists of Deans and Directors	16
②名誉教授 Emeritus Professors	18
③役職員等 Administration Staffs	19
④職員の現員 Number of Staff	23

■教育・研究トピックス Educational and Research Topics	24
■学生 Students	36
■解剖体数 Number of Cadavers and Autopsies	40
■医学図書館 Medical Library	41
■附属病院の業務概要 Services in the University Hospital	42
①病院案内図 Guide to Floors	42
②診療科別病床数 Number of Beds for Each Clinical Division	43
③診療科別入院及び外来患者数 Number of Inpatients and Outpatients at Each Clinical Division	44



④地域別入院及び外来患者数	45
Distribution of Inpatients and Outpatients by Area	
⑤年度別1日平均患者数	46
Mean Number of Patients per day	
⑥中央検査部臨床検査件数	46
Number of Cases of Central Laboratory	
⑦手術件数及び麻酔件数	47
Number of Surgery and Anesthetic Cases	
⑧処方枚数,件数	48
Prescriptions and Related Data	
⑨分娩件数	48
Number of Delivery Cases	

⑩X線撮影,CT,MRI,核医学検査及び放射線治療件数	48
Number of X-ray Photography, CT, MRI, Nuclear Medicine and Radiotherapy Cases	
⑪医療機関の承認・指定・届出等の状況	49
Legal Authorization of Medical Services	
■土地・建物 Land and Buildings	53
①敷地面積	53
Campus	
②建物面積	53
Buildings	
■所在地及び電話番号 Address and Telephone	55
■建物配置図 Campus Map	57

医学系研究科の理念・目標

○理念

人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の最先端研究を推進できる国際的視野を備えた優れた研究者・高度専門医療人を育成する。

○医学専攻の目標

1. 教育 医学・医療・生命科学の最先端研究を推進するための幅広い知識と研究技法を身につけ、世界へ向けて卓越した学術研究の成果を発信できる国際的視野を備えた研究者及び高度専門医療人を育成する。
2. 研究 人類の健康・福祉の発展に寄与する医学・医療・生命科学の卓越した研究拠点を形成するとともに、現代の医学・医療を取り巻く多彩な社会的課題の解決に貢献する社会医学・医療科学の研究を推進する。

○医科学専攻の目標

1. 教育 医学・医療・生命科学の幅広い知識を身につけ、研究成果を世界に向けて発信できる国際的視野を備えた研究者を育成する。
2. 研究 人類の健康・福祉の発展に寄与するため、医学・医療関連分野の領域横断的な諸問題の解決に貢献する研究を推進する。

○保健学専攻の目標

1. 教育 保健学に関する幅広い知識や専門領域における深い知識と優れた研究能力を有し、学習者の葛藤に共感し効果的に援助できる教育者を育成する。
また、実践の場において、自立した研究活動ができ、かつ優れたケア、指導、管理ができる高度専門職者を育成する。特に、少子・高齢化に係る諸課題を総合的に探求・解決し、地域再生へ貢献ができる人材を育成する。
2. 研究 保健学、特に看護学とリハビリテーション科学の領域で、創造性に富み学問的基盤の確立と発展に貢献する研究を推進する。

医学部の理念・目標

○理念

豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観及び、学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成する。

○医学科の目標

1. 教育 豊かな感性、高い教養、医療に関する幅広い専門知識と高度な技術を身につけ、人間に対する深い理解と愛情を持ち、医学・医療の発展のために必要な意欲と能力を持つ人材を育成する。
2. 研究 国際的に高く評価される独創性の高い医学研究を推進し、特色ある研究拠点を形成する。
3. 医療 特色ある先進医療を推進するとともに、地域社会において期待される医療・福祉の充実に貢献する。

○保健学科の目標

1. 教育 豊かな感性、高い教養と倫理性、医療に関する幅広い専門知識と高度な技術を身につけ、国民の健康と医療・福祉に貢献できる医療技術者、並びに教育・研究の発展に寄与できる創造性豊かな人材を育成する。
2. 研究 教育の礎となり、健康科学に広く関わる知識と技術の発展に資する研究を目指し、社会に貢献する。

医学部附属病院の理念・目標

○理念

- ・良質で高度な医療を安全に提供する
- ・人間性豊かな優れた医療人を育成する
- ・先進的な医療の開発と推進に努める
- ・地域医療の中核的役割を果たす
- ・医療を通じて国際貢献に務める
- ・病院で働く全ての人たちの幸福を目指す

私共、秋田大学医学部附属病院の全職員は、
本病院の理念に基づき、自らの使命を果たします。

○目標

1. 教育病院として臨床実習・研修の充実を図り、医師のみならず全ての分野の優れた医療人を、地域の医療機関との連携を図りながら育成する。
2. 患者本位の立場に立ち、患者さんとの信頼関係のもとに医療サービスの向上を図り、患者さんに選ばれる病院を目指す。
3. 地域の保健・医療・福祉の状況を総合的に把握し、その向上のために地域医療機関と連携し、一般医療のみならず難病への医療や高度先端医療の提供に努める。
4. 地域的に問題とされる疾患や難治性疾患の病因解明や新しい診断・治療方法の開発、既存の診断・治療方法の科学性、有効性の検証等について研究し、国際レベルの、独創的研究成果をあげる。
5. 医学・医療の進展に対応して、新しい知識や技術の有用性を適切に判断できるように生涯にわたって学習を継続し、また、広く学際領域の諸科学にも関心をもつよう努力する。
6. 国際情勢にも関心をもち、高度な医学・医療の知識や技術の導入のみならず、開発途上国に対する国際医療協力などをも含めて国際的に活躍できるよう努力する。
7. 有限な資源を有効に利用することの重要性を認識し、全職員の病院運営への意識を高め、かつ、職員の創意工夫を取り入れて効率的な管理運営ができるように努力する。
8. 診療情報を積極的に患者さんに提供し、医療提供者と患者さんが診療情報を共有することによって、両者の良好な関係を築き、より質の高い開かれた医療を目指す。
9. 自己点検・評価さらには第三者機関による評価を踏まえて、常に教育、研究、診療の向上や病院の管理運営の改善に努める。
10. 常に自分自身を向上させ、患者さんの信頼を得、明るい、やりがいのある職場の構築に努める。

40周年記念講堂 Hondo 40th Anniversary Memorial Hall



医学系研究科長・医学部長あいさつ



医学系研究科長
医学部長

Dean, Graduate School of Medicine
and Faculty of Medicine

羽 瀧 友 則

Tomonori Habuchi

秋田大学医学部医学科は、1970年に我が国における戦後初の医学部として創設されました。県民の強い熱意が原動力となって、旧県立中央病院を国に移管して医学部附属病院とし、開設されたものです。また医学部保健学科は1978年に医学部附属看護学校として開設され、1990年に秋田大学医療技術短期大学(3年課程)として医学部に併後、2002年に医学部保健学科(4年課程)へと発展的に改組されました。2009年、秋田大学医学部は大学院大学に部局化され、名称を秋田大学大学院医学系研究科とし、医学専攻および保健学専攻からなる大学院として新しいスタートを切り、現在に至っています。設立以来の医学系研究科及び医学部の卒業生は5,000名を超え、医療界の様々な分野で指導者として活躍しています。

このような背景をもとに、秋田大学医学部と附属病院は秋田県をはじめとする地域の医療に貢献することで地元の信頼を得て参りました。私達は、先進的な医療や世界最先端の研究とともに、秋田県の医療や県民の健康を守るという重要な役割を果たす必要があります。

秋田大学大学院医学系研究科ならびに医学部のミッションは、教育、研究、そして診療です。それぞれの特徴を簡単にご紹介します。

医学科の教育カリキュラムの特徴は、全国でも先進的な医学教育の取り組みを行ってきており、「秋田モデル」とも称する卒前・卒後をシームレスに繋ぐ一環教育にあります。秋田大学では1年次からの早期臨床体験教育に始まり、1年次から6年次まで、地域の医療機関で実習を行うことができるように、秋田県医師会及び県

内の医療機関より全面的なバックアップを頂いています。2001年から全国に先んじて、独自に卒業時の学生の診療能力を評価するための実技試験(アドバンス Post-Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination : OSCE)を導入し、最先端の教育と評価システムを実践してきました。保健学科においても、地域の医療機関や市町村との積極的な連携により様々な実習や演習を行っています。また、理学療法学専攻や作業療法学専攻は、学生数の少なさを生かした少人数教育が中心なので、学生と教員との距離感がとても近いことが特徴です。キャンパス内にはシミュレーション教育センターが設置されており、学生のみならず広く県内の医療従事者へも解放して実技トレーニングを行っています。さらには、初年次からの英語による医療面接実習、学生用Webシステム、e-Learning、デジタル教育、等、新たな教育手法の開発や実践に積極的に取り組むことで、1年次から最終学年までをモチベーション高く系統立てて繋ぐカリキュラムを構築しています。このような先進的は取り組みが功を奏し、医師国家試験や看護師国家試験、理学療法士国家試験、作業療法士国家試験などでも、毎年、好成績を挙げております。また、2021年の日本医学教育評価機構による分野別評価においても極めて高い評価を受けたのも特筆すべき成果であります。

学生の海外派遣及び海外学生の受け入れにも積極的です。医学科では毎年10名以上が医学部国際交流基金からの支援を得て、海外の医学部または医学研究機関へ短期留学しています。保健学科では、シンガポール国立大学看護学アリス・リー・センターと学部間協定を結んで、学生相互交流をしています。

医学系研究科では基礎から臨床まで特色のある先端的研究が行われており、世界への発信を続けています。癌の分野では癌細胞周囲の微小環境の研究、造血器や固形腫瘍(癌)の新規治療薬の開発研究、抗癌剤をはじめとした各種治療薬の薬物動態遺伝学、様々な細胞死の研究、肥満と癌進展の研究などに取り組んでいます。他の分野ではCOVID-19やインフルエンザの肺炎や重症化に関する研究、睡眠の分子機構の研究、新たな免疫細胞やアレルギーなど免疫の研究においても優れた研究成果を発表しています。医理工連携にも勢力を挙げて取り組んでおり、一端として、「遠隔医療推進開発研究センター」による遠隔医療の推進と開発や、癌の自動迅速病理診断装置の開発と製品化等が注目されています。

医学部附属病院は、県内唯一の特定機能病院として良質な高度医療の提供と優れた医療人の育成に力を入れています。2020年度には、これからの地域医療を支える総合的診療能力を有する医師養成の拠点としての総合診療医センターを設置しました。また、以前より救命救急活動用のヘリポートを設置し、県内各地から重症患者を受け入れてまいりましたが、2021年には高度救命救急センターが設置され、救急医療や超急性期医療体制がさらに充実しました。2012年から手術支援ロボット下の内視鏡手術、2021年からハイブリッド手術室での心血管手術も多数例を行い、順調に軌道にのせております。また近年の癌登録患者数からみましても県内随一の多くの癌患者さんや急性期循環器疾患患者の治療にあたっており、県民の医療を守り、先進医療に取り組み世界に発信する大学病院と言えます。

医学部基礎医学研究棟 Research Building for Basic Medicine



医学部附属病院長あいさつ



病院長
Director, University Hospital

南谷 佳弘
Yoshihiro Minamiya

～皆さまから愛される秋田大学医学部附属病院を目指して～

秋田大学医学部附属病院長の南谷佳弘です。病院を代表してご挨拶を申し上げます。新型コロナウイルスの感染が蔓延して3年目となりました。感染者は日々減少傾向にあり、終息宣言も間近ではないかと期待しております。世間では今まで我慢していた分、旅行などに出かける方々も多くなってきています。一方、当院は秋田県唯一の特定機能病院として、県内の他医療機関では治療が難しい難病や重症の患者さんが数多く入院されております。これらの患者さんは感染症に弱く、一度新型コロナウイルスに感染すると重篤化する可能性が高いです。そのためコロナウイルスをはじめ感染症には対しては細心の注意を払って診療を行っております。病院の対応等にまだまだご不便とお感じになるかもしれませんが、事情を鑑み何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

秋田大学医学部附属病院は1970年の秋田大学医学部創設に続いて、翌年に当時の秋田県立中央病院が国に移管される形で開設されました。以降、県内唯一の特定機能病院として、良質で高度な医療の提供と優れた医療人の育成、世界に発信する研究を行ってまいりました。

2007年には都道府県がん診療拠点病院に、2012年には秋田県からのご支援により国内最大級のシミュレーション教育センターが竣工。2013年にはあきた医師総合支援センター設置。2014年にはヘリポート竣工など、秋田県民医療の中核・拠点としての機能と教育・研究機能がますます強化されてきました。2016年にはエボラ出血熱などの第一種感染症にも対応できる病棟も竣工されました。2009年の新病棟竣工後は旧病棟や外来棟の再開発も進み、2015年3月で病院再開発が完了しました。そしてこれらの設備の充実により安全で高度な医療を提供できるばかりでなく、患者さんやご家族には快適な入院生活や外来受診を行えるような環境が整備されました。

設備が充実されていく中で、私どもは「診療」では、臓器移植や骨髄移植、ロボット支援手術に代表される低侵襲手術、難治性がんや難治疾患に対する集学的治療、PET-CTをはじめとする高度画像診断技術など、高度で良質な医療を提供しています。また新たに立体駐車場を整備して、ご不便をおかけしていた駐車スペース不足解決の一助といたしました。さらに、敷地内に薬局を誘致して患者さんの利便性を改善しました。一方、日本全国、特に地方では、高齢化、人口減少そして医師不足の問題を抱えています。今後の医療のあるべき姿を見据えて、新たな2つのセンターを設置しました。2020年12月1日に総合診療医センター、そして2021年4月1日に高度救命救急センターです。この2つのセンターを軸として、秋田県に将来にわたって持続可能な医療の新たなモデルを作っていきますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。

「教育」では医学教育に優れたスタッフを多数登用しています。そして医学部や医学系研究科とともに、県内医療はもとより、世界の医療現場で活躍できる優秀な医療人を、あきた医師総合支援センターを活用しながら多教育成しています。「研究」では、医学系研究科と協力して先進医療の推進とともに新規治療薬、医工連携による機器の開発、副作用・合併症の少ない薬剤投与方法や手術法の実現を行なっています。

秋田大学医学部附属病院はこれからも「診療」「教育」「研究」の三つの責務を果たしながら、秋田県はもちろん全国の皆さまに満足していただける良質で高度な医療を提供できるよう、医師、看護師、医療系職員、事務職員が一丸となって努力してまいります。そして「皆さまから愛される秋田大学医学部附属病院を目指して」日々精進してまいりますので、暖かいご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

医学部附属病院 University Hospital



1945	昭和20年4月 April	秋田県立女子医学専門学校設置 Akita Prefectural Women's Medical College was established.
1947	昭和22年4月 April 11月 November	校舎全焼 The college buildings were totally destroyed by fire. 学校及び附属病院廃止 The College and the College Hospital were abolished. 秋田県立病院設置 Akita Prefectural Hospital was established.
1954	昭和29年7月 July	秋田県立中央病院と改称 The Hospital was renamed Akita Prefectural Central Hospital.
1958	昭和33年4月 April	秋田県立高等看護学院を開設 Akita Prefectural Nursing School was established.
1969	昭和44年1月 January	昭和44年度予算(案)に本学医学部創設準備費計上 A budget for establishing Akita University School of Medicine was earmarked.
1970	昭和45年4月 April	秋田大学に医学部設置 Akita University School of Medicine was established. 医学科学生入学定員80名 Enrollment limit of undergraduate students:80 医学部設置に伴い県立中央病院は代用附属病院となる Akita Prefectural Central Hospital was used as University Hospital. 解剖学第一,生化学,内科学第一,外科学第一,小児科学及び産科婦人科学の6講座開設 Six Departments (Anatomy I, Biochemistry, Internal Medicine I, Surgery I, Pediatrics, and Obstetrics and Gynecology) were established.
1971	昭和46年4月 April 11月 November	秋田県立中央病院を国に移管,医学部附属病院発足 Akita Prefectural Central Hospital was transferred to Akita University: Akita University Hospital was formally established. 解剖学第二,病理学第一,薬理学,生理学第一,微生物学,衛生学及び寄生虫学の7講座開設(計13講座) Seven Departments (Anatomy II, Pathology I, Pharmacology, Physiology I, Microbiology, Hygiene, and Parasitology) were established (13 departments in total). 医学部附属病院に内科,外科,小児科,産科婦人科,神経科精神科,整形外科,皮膚泌尿器科,眼科,耳鼻咽喉科,放射線科,麻酔科,歯科の12診療科,中央検査部,中央手術部の2中央診療施設開設(病床数600床,職員定員460) Twelve Clinical Divisions (Internal Medicine, Surgery, Pediatrics, Obstetrics and Gynecology, Neurology and Psychiatry, Orthopedic Surgery, Dermatology and Urology, Ophthalmology, Oto-Rhino-Laryngology, Radiology, Anesthesiology and Dentistry) along with 2 Central Clinical Facilities (Central Laboratory Division and Central Operating Division) were established. (600 beds and 460 staff members) 基礎医学研究棟,実習棟,講義棟,研究機器センター,附属図書館医学部分館,福利厚生施設及び体育館等竣工 Buildings were completed for the research of basic medicine, laboratory, lecture theaters and Central Research Laboratory, Medical School Library, student welfare facilities, and gymnasium.
1972	昭和47年4月 April 5月 May	病理学第二,生理学第二,内科学第二,外科学第二,眼科学及び耳鼻咽喉科学の6講座開設(基礎医学11講座,臨床医学8講座 計19講座) Six Departments (Pathology II, Physiology II, Internal Medicine II, Surgery II, Ophthalmology, and Oto-Rhino-Laryngology) were established. (A total of 19 departments comprising 11 departments for basic medicine and 8 departments for clinical medicine) 秋田大学医学部附属看護学校を設置 Attached School of Nursing of Akita University School of Medicine was established. 内科を第一内科と第二内科に,外科を第一外科と第二外科に分離(計14診療科) The Division of Internal Medicine was separated into two independent subdivisions (Internal Medicine I and II) and the Division of Surgery was separated into two subdivisions (Surgery I and II). (14 clinical divisions in total)
1973	昭和48年4月 April 11月 November	公衆衛生学,法医学,精神科学,整形外科,麻酔学及び放射線医学の6講座開設(基礎医学13講座,臨床医学12講座 計25講座) Six Departments (Public Health, Forensic Medicine, Psychiatry, Orthopedic Surgery, Anesthesiology and Radiology) were established. (A total of 25 departments comprising 13 departments for basic medicine, and 12 departments for clinical medicine) 皮膚泌尿器科を皮膚科と泌尿器科に分離(計15診療科) The Division of Dermatology and Urology was separated into two independent divisions of Dermatology and Urology. (15 clinical divisions in total) 臨床医学本館,臨床講義棟竣工 The main clinical building and lecture building were completed.

1974	昭和49年4月 April	皮膚科学及び泌尿器科学講座開設(基礎医学13講座,臨床医学14講座 計27講座)予定全講座の開設終了 Departments of Dermatology and Urology were established. (A total of 27 departments comprising 13 departments for basic medicine and 14 departments for clinical medicine)
1975	昭和50年4月 April	内科学第三講座増設(臨床医学15講座 計28講座) The 3rd Department of Internal Medicine was established. (15 departments for clinical medicine and 28 departments in total) 秋田赤十字,市立秋田総合,由利組合総合の3病院を本学の協力病院に指定 Akita Red Cross Hospital, Akita Municipal General Hospital and Yurikumiai General Hospital were appointed affiliated hospitals to the University Hospital.
1976	昭和51年3月 March 4月 April 8月 August 9月 September 10月 October 12月 December	医学科第1期生卒業75名 The first graduation ceremony. (75 students graduated from the Medical School) 大学院設置,医学研究科学生入学定員56名 Graduate School of Medicine was established with the enrollment limit of graduate students 56. 新病院(鉄筋コンクリート8階建,地下1階)竣工 The new hospital building (8 floors one basement) was completed. 新病院移転,診療開始 The new hospital opened. 第三内科増設(計16診療科) Division of Internal Medicine III was established. (16 clinical divisions in total) 看護婦宿舎(鉄筋コンクリート6階建)竣工 Nurses'Dormitory was built. (6 floors)
1977	昭和52年2月 February 10月 October	動物実験施設竣工 Animal Facilities for Experimental Medicine was built. 中央材料部増設(計3中央診療施設) Central Supplying Division was established. (3 central clinical facilities in total)
1978	昭和53年3月 March 4月 April 10月 October	附属看護学校及びRI施設竣工 School of Nursing and Radioisotope Research Center were established. 脳神経外科学講座増設(臨床医学16講座 計29講座) Department of Neurosurgery was established. (16 departments for clinical medicine and 29 departments in total) 医学科学生入学定員100名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 100. 脳神経外科増設(計17診療科) Division of Neurosurgery was established. (17 clinical divisions in total)
1979	昭和54年4月 April 10月 October	生化学第二講座増設(基礎医学14講座 計30講座) The 2nd Department of Biochemistry was established. (14 departments for basic medicine and 30 departments in total) 中央放射線部増設(計4中央診療施設) Central Radiology Division was established. (4 central clinical facilities in total)
1980	昭和55年3月 March 4月 April	医学研究科第1期生修了4名 The first graduation ceremony of the Graduate School. 病院事務部が3課制(総務課,管理課,医事課)となる The administrative department of the University Hospital was reorganized with 3 divisions (General Affairs, Administration, and Medical Affairs).
1981	昭和56年4月 April	附属動物実験施設が附属教育研究施設となる Animal Facilities for Experimental Medicine became an educational and research institution attached to the Medical School. 集中治療部増設(計5中央診療施設) Intensive Care Unit was established. (5 central clinical facilities in total)
1982	昭和57年4月 April	附属実験実習機器センターが附属教育研究施設となる The Central Research Laboratory became an educational and reserch institution attached to the Medical School.

1984	昭和59年4月 April	心臓血管外科増設(計18診療科) Division of Cardio-Vascular Surgery was established. (18 clinical divisions in total) 医学部及び附属病院事務部を統合し、医学部事務部(総務課,管理課,学務課,医事課)に改組 Administrative Offices in the Medical School and the University Hospital were unified into a new Administration Department of the Medical School (comprising General Affairs Division, Administration Division, Educational Affairs Division and Medical Affairs Division).
1986	昭和61年1月 January 4月 April	管理棟竣工 Completion of the Administration Building. 救急部増設(計6中央診療施設) Division of Emergency Medicine was established. (6 central clinical facilities in total)
1987	昭和62年5月 May	臨床検査医学講座増設(臨床医学17講座 計31講座) Department of Laboratory Medicine was established. (17 departments for clinical medicine and 31 departments in total)
1989	平成元年10月 October	白求恩医科大学・中国医科大学と姉妹校締結 Agreements for academic and student exchange and cooperation were concluded with Norman Bethune University of Medical Sciences and China Medical University. 秋田大学医療技術短期大学部を秋田大学に併設 College of Allied Medical Science was established.
1990	平成2年4月 April	理学療法学科及び作業療法学科の設置 Department of Physical Therapy and Occupational Therapy were established.
1991	平成3年3月 March 4月 April	附属病院MRI-CT棟竣工 Completion of the MRI-CT Facility in the University Hospital. 心臓血管外科学講座増設(臨床医学18講座 計32講座)及び輸血部増設(計7中央診療施設) Department of Cardio-Vascular Surgery was established (18 departments for clinical medicine and 32 departments in total) and Division of Blood Transfusion was established. (7 central clinical facilities in total)
1992	平成4年3月 (31日) March	秋田大学医学部附属看護学校廃止 Attached School of Nursing of Akita University School of Medicine was abolished.
1994	平成6年1月 January 6月 June	附属病院が特定機能病院の承認 The University Hospital was authorized as a Special Functioning Hospital. 救急医学講座増設(臨床医学19講座 計33講座)及び老年科増設(計19診療科) Department of Emergency and Critical Care Medicine was established (19 departments for clinical medicine and 33 departments in total) and Division of Geriatrics was established. (19 clinical divisions in total)
1995	平成7年11月 November	中国卫生部北京医院と学術交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with Beijing Hospital, Ministry of Health, People's Republic of China.
1996	平成8年1月 January 5月 May	ミンスク医科大学と姉妹校締結 Agreements for academic and student exchange and cooperation were concluded with Minsk Medical Institute. 小児外科増設(計20診療科) Department of Pediatric Surgery was established. (20 clinical divisions in total)
1998	平成10年4月 April	医科学情報学講座増設(基礎医学15講座 計34講座) Department of Medical Information Science was established. (15 departments for basic medicine and 34 departments in total) リハビリテーション部増設(計8中央診療施設) Rehabilitation Division was established. (8 central clinical facilities in total)
1999	平成11年3月 March	納骨堂竣工 Completion of the Charnel House.
2000	平成12年2月 February	臨床研究棟(本館,北棟)改修工事竣工 Renovation to the main Building and the north wing of the Clinical Research complex was completed.
2001	平成13年4月 April	医療情報部増設(計9中央診療施設) Division of Medical Informatics was established. (9 central clinical facilities in total)

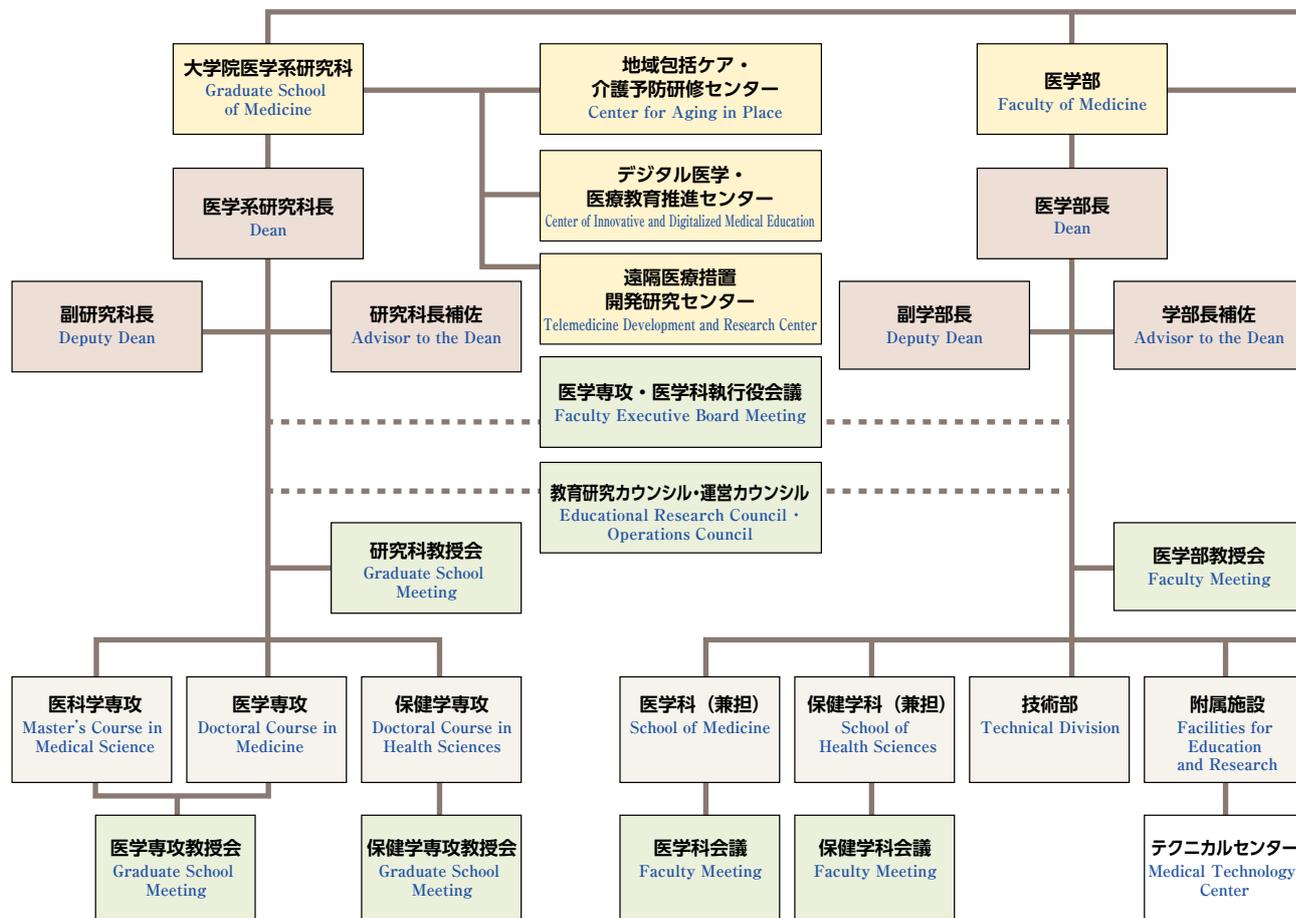
2002	<p>平成14年4月 April</p> <p>10月 October</p>	<p>老年医学講座増設(臨床医学20講座 計35講座) Department of Geriatrics was established. (20 departments for clinical medicine and 35 departments in total)</p> <p>医療技術短期大学部を改組し,保健学科設置 College of Allied Medical Science was reorganized into School of Health Sciences.</p> <p>保健学科学生入学定員106名 Enrollment limit of Health Sciences undergraduate students :106</p>
2003	<p>平成15年4月 April</p>	<p>小児外科学講座増設(臨床医学21講座 計36講座) Departments of Pediatric Surgery was established. (21 departments for clinical medicine and 36 departments in total)</p> <p>医学部医学科の講座を再編成(基礎医学15講座,臨床医学21講座 計36講座から,基礎医学4大講座,臨床医学6大講座 計10大講座へ) The Medical School (Dept. of General Medicine) was reorganized-General and Clinical Medicine (36 total divisions) were divided into four major divisions of general medicine, and six major divisions of clinical medicine, for a total of ten divisions.</p> <p>血液浄化療法部増設(計10中央診療施設) Division of Blood Purification was established. (10 central clinical facilities in total)</p>
2004	<p>平成16年4月 April</p>	<p>国立大学法人秋田大学の設置 Akita University was reestablished as a National University Corporation.</p> <p>医学部事務部を総務課,企画管理課,調達課,学務課,医事課,医療サービス室に改組 The Administration Department of the Medical School, which had four divisions, was reorganized into 6 Divisions: General Affairs, Planning-Administration, Supplying, Educational Affairs, Medical Affairs and Medical Service.</p> <p>附属動物実験施設,附属実験実習機器センター及び放射性同位元素センターが,医学部附属教育施設から分離し,秋田大学バイオサイエンス教育・研究センターに再編 The Medical School Facilities for Education and Research (Animal Facilities for Experimental Medicine, Central Research Laboratory, and Radioisotope Research Center) were integrated into Akita University Bioscience Education and Research Center.</p>
2005	<p>平成17年5月 May</p> <p>6月 June</p>	<p>附属病院がISO9001:2000を取得 The University Hospital received ISO9001:2000 certification in accordance with guidelines set by the International Organization for Standardization.</p> <p>華中科技大学同済医学院と学術友好交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with Tongji Medical College of Huazhong University of Science and Technology.</p>
2006	<p>平成18年3月 March</p>	<p>医学系研究棟竣工 Completion of the Medical Research Building.</p>
2007	<p>平成19年1月 January</p> <p>4月 April</p> <p>10月 October</p>	<p>附属病院が都道府県がん診療連携拠点病院に指定 The University Hospital received government recognition as a national affiliated cancer treatment facility.</p> <p>大学院医学研究科を大学院医学系研究科に改組し,医科学専攻(修士課程)及び保健学専攻(修士課程),並びに医学専攻(博士課程)を設置 In addition to Doctor Course in Medicine, Master Course of Medical Science and Master's Program in Health Sciences were established in Graduate School of Medicine.</p> <p>内科学講座に臨床腫瘍学分野増設 Department of Clinical Oncology was established.</p>
2008	<p>平成20年2月 February</p> <p>10月 October</p>	<p>カリアリ大学と学術友好交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with the University of Cagliari.</p> <p>秋田県からの寄附を受け,総合地域医療推進学講座(寄附講座)を設置(平成20年10月1日~平成25年3月31日) Endowed Department of Community Medicine and Primary Care Development was established.(Akita Prefecture)</p> <p>アステラス製薬株式会社,中外製薬株式会社,日本化薬株式会社,扶桑薬品工業株式会社,有限会社大沢商事からの寄附を受け,腎置換医療学講座(寄附講座)を設置(平成20年10月8日~平成25年10月7日) Endowed Department of Renal Replacement Therapeutic Science was established. (Astellas Pharma Inc, Chugai Pharmaceutical CO., LTD, Nippon Kayaku Co., Ltd, Fuso Pharmaceutical Industries, LTD, Osawa Shouji)</p>

2009	<p>平成21年4月 April</p> <p>9月 September</p> <p>11月 November</p>	<p>大学院医学系研究科を部局化(医学専攻4系37講座, 保健学専攻6講座) As a result of the shift to the chair system of the Graduate School of Medicine, four divisions and 37 departments were reorganized in Doctoral Course in Medicine, and six departments were reorganized in Doctoral Course in Health Sciences.</p> <p>大学院医学系研究科に保健学専攻(博士後期課程)を設置 A Doctoral Course in Health Sciences was established in the Graduate School of Medicine.</p> <p>医学教育部設置 The Medical School faculty was established.</p> <p>医学系研究科に執行役会議を設置し, 副研究科長(副学部長)制を導入 Faculty Executive Board was established in the Graduate School of Medicine Three Deputy Deans were appointed.</p> <p>医学部事務部を医学系研究科・医学部事務部に改組 The Administration Departments of Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine was reorganized.</p> <p>医療安全管理部, 感染制御部, 栄養管理部, リハビリテーション科, 緩和ケアセンター増設 Division of Medical Security and Patient Safety, Division of Infection Control and Prevention, Division of Nutrition Management, Rehabilitation Medicine, Palliative Care Center were established.</p> <p>附属病院第二病棟竣工 Completion of the Wing No.2 of the University Hospital.</p> <p>肝疾患相談センター増設 Liver Disease Consultation Center was established.</p>
2010	<p>平成22年4月 April</p> <p>7月 July</p>	<p>株式会社三和化学研究所からの寄附を受け, 病態代謝栄養学講座(寄附講座)を設置(平成22年4月1日~平成25年3月31日) Endowed Department of Metabolism and Clinical Nutrition Science was established.(Sanwa Kagaku Kenkyusho CO., LTD)</p> <p>腫瘍内科, 救急科増設 Clinical Oncology, Emergency Medicine were established.</p> <p>医学科学生入学定員122名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 122.</p> <p>基礎医学研究棟改修工事竣工 Renovation to the Research Building for Basic Medicine was completed.</p> <p>秋田県からの寄附を受け, 地域医療連携学講座(寄附講座)を設置(平成22年7月1日~平成26年3月31日) Endowed Department of Community Medical Care Relations was established.(Akita Prefecture)</p>
2011	<p>平成23年4月 April</p>	<p>医学科学生入学定員125名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 125.</p> <p>地域医療政策学講座を設置 Department of Health Care Policy was established.</p> <p>リール第2大学医学部と学術友好交流協定締結 Agreements for academic exchange were concluded with the Faculty of Medicine of Lille 2 University.</p>
2012	<p>平成24年1月 January</p> <p>10月 October</p>	<p>秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター竣工 Completion of the Akita University Hospital Medical Simulation Center.</p> <p>地域がん包括医療学講座を設置 Department of Comprehensive Cancer Control was established.</p>

2013	<p>平成25年4月 April</p> <p>7月 July</p>	<p>医科学情報学・国際交流学講座を医学教育学講座に名称変更 Department of Medical Education was established.</p> <p>医師総合支援センター増設 Medical Doctor Support Center was established.</p> <p>腎疾患先端医療センター増設 Center of Advanced Treatment for Kidney Disease was established.</p> <p>総合地域医療推進学講座(寄附講座)期間延長 (平成20年10月1日～平成30年3月31日) Endowed Department of Community Medicine and Primary Care Development was extended.</p> <p>病態代謝栄養学講座(寄附講座)期間延長 (平成22年4月1日～平成27年3月31日) Endowed Department of Metabolism and Clinical Nutrition Science was extended.</p> <p>感染・免疫アレルギー・病態検査学講座を総合診療・検査診断学講座に名称変更 Department of General Medical Practice and Laboratory Diagnostic Medicine was established.</p> <p>医療情報学講座を設置 Department of Medical Informatics was established.</p>
2014	<p>平成26年4月 April</p> <p>5月 May</p> <p>6月 June</p> <p>10月 October</p>	<p>医学科学生入学定員127名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 127.</p> <p>秋田県からの寄附を受け、循環型医療教育システム学講座(寄附講座)を設置 (平成26年4月1日～平成31年3月31日) Endowed Department of Interconnected Medical Education and Support Systems was established.</p> <p>附属病院ヘリポート及び立体駐車場運用開始 The university hospital's helipad / parking garage in officially opened for use.</p> <p>蘭州大学附属第一病院と学術交流に関する覚書締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Akita University Hospital and The First Hospital of Lanzhou University.</p> <p>医学系研究科に地域包括ケア・介護予防研修センターを設置 Center for Aging in Place established in the Graduate School of Medicine.</p> <p>卒後臨床研修センター、医師キャリア形成支援センター、医師総合支援センターを改組し、総合臨床教育研修センターを設置 Post-Graduation Clinical Training Center, Career Development Center and Medical Doctor Support Center reorganized Center for Medical Education and Training.</p>
2015	<p>平成27年3月 March</p> <p>4月 April</p> <p>7月 July</p>	<p>医学教育部を廃止 Medical School Faculty was abolished.</p> <p>医学科学生入学定員129名に増員 Enrollment limit of medical undergraduate students was increased to 129.</p> <p>外来棟・中央診療棟改修工事竣工、附属病院再開発整備事業完了 Renovation work on Outpatient Clinic Building and Main Clinic Building completed. University Hospital overall renovation construction project completed.</p> <p>呼吸器・乳腺内分泌外科学講座を胸部外科学講座に名称変更 Department of Thoracic Surgery was established</p> <p>消化管内科学講座を設置 Department of Gastroenterology was established</p> <p>消化器内科・神経内科学講座を肝胆膵内科学・神経内科学講座に名称変更 Department of Hepatology and Neurology was established.</p> <p>医学系研究科に教育研究カウンスル及び運営カウンスルを設置 Educational Research Council and Operations Council established in the Graduate School of Medicine.</p> <p>治験管理センターを改組し、臨床研究支援センターを設置 Pharmaceutical Management Center reorganized Clinical Research Promotion and Support Center.</p> <p>消化器内科を消化器内科(肝・胆・膵)に名称変更 Gastroenterology was established</p> <p>消化器内科(胃腸・食道)を設置 Gastroenterology was established</p>

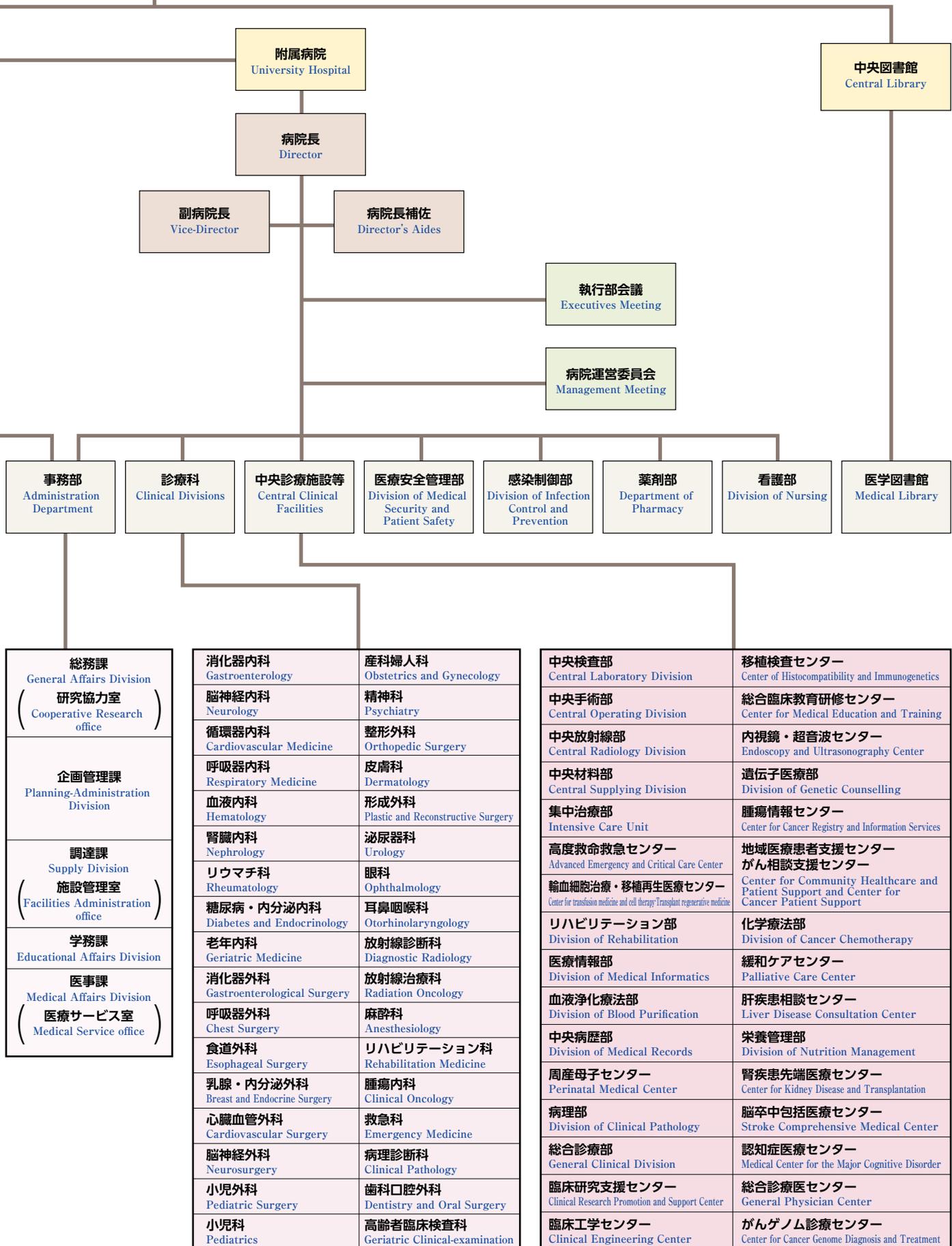
2016	<p>平成28年3月 March</p> <p>4月 April</p> <p>8月 August</p> <p>10月 October</p>	<p>シンガポール国立大学看護部と部局間交流協定締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Graduate School of Medicine Doctoral Course in Health Science.</p> <p>地域・老年看護学講座を地域生活支援看護学講座へ名称変更 Nursing for Community Living was established.</p> <p>ハワイ大学と交流覚書締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded with University of Hawaii</p> <p>肝胆膵内科学・神経内科学講座と消化管内科学講座を統合し消化器内科学・神経内科学講座へ名称変更 Department of Gastroenterology and Neurology was established.</p> <p>消化器内科(肝・胆・膵)と消化器内科(胃腸・食道)を統合し消化器内科へ名称変更 Gastroenterology was established.</p>
2017	<p>平成29年3月 March</p> <p>4月 April</p> <p>7月 July</p> <p>8月 August</p> <p>12月 December</p>	<p>本道40周年記念会館竣工 Completion of The Hondo 40th Anniversary Memorial Hall.</p> <p>地域がん包括医療学講座を地域がん医療学講座に名称変更 Department of Comprehensive Cancer Control was established.</p> <p>地域医療政策学講座を廃止 Department of Health Care Policy was abolished.</p> <p>高度感染症ユニット棟(第一種感染症病棟)竣工 Completion of High level Infectious Disease Unit.</p> <p>北秋田市と連携協定を締結 Agreements for cooperation were concluded with Kita akita city.</p> <p>MDアンダーソンがんセンターと交流覚書締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded with MD Anderson Cancer Center.</p> <p>呼吸器内科学講座を設置 Department of Respiratory Medicine was established.</p> <p>呼吸器内科を設置 Respiratory Medicine was established.</p> <p>循環器内科学・呼吸器内科学講座を循環器内科学講座へ名称変更 Department of Cardiovascular Medicine was established.</p> <p>循環器内科を設置 Cardiovascular Medicine was established.</p>
2018	<p>平成30年4月 April</p> <p>5月 May</p> <p>9月 September</p>	<p>総合地域医療推進学講座(寄附講座)期間延長 Endowed Department of Community Medicine and Primary Care Development was extended.</p> <p>脳卒中包括医療センターを設置 Stroke Comprehensive Medical Center was established.</p> <p>形成外科を設置 Plastic and Reconstructive Surgery was established.</p>
2019	<p>平成31年4月 April</p> <p>令和元年5月 May</p>	<p>環境保健学講座と公衆衛生学講座を統合し衛生学・公衆衛生学講座へ名称変更 Department of environmental health science and public health was established.</p> <p>秋田県からの寄附を受け、地域循環・若手医師・女性医師支援学講座(寄附講座)を設置(平成31年4月1日～令和2年3月31日) Integrated Support Systems for Regional Medical Care, Young Physicians and Women Physicians was established.</p> <p>入退院支援センターを設置 Hospital Admission Support Center was established.</p> <p>シンガポール国立大学看護部と学生交換協定締結 Student Exchange Agreement on Academic Cooperation were concluded with Alice Lee Center for Nursing Studies National University of Singapore.</p> <p>チェンマイ大学医療技術学部と学生交換協定締結 Student Exchange Agreement on Academic Cooperation were concluded with Chiang Mai University.</p> <p>スラナリー工科大学看護学部と部局間交流協定締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Graduate School of Medicine Doctoral Course in Health Science.</p>

2020	令和2年1月 January	高齢者臨床検査科を設置 Department of geriatric clinical-examination was established.
	2月 February	認知症医療センターを設置 Medical center for the major cognitive disorder was established.
	4月 April	基礎看護学講座, 臨床看護学講座, 母子看護学講座及び地域生活支援看護学講座を統合し, 看護学講座に改組 Department of Basic Nursing, Department of Clinical Nursing, Department of Maternity Child Nursing and Department of Nursing for Community Living were unified into Department of Nursing. 地域医療患者支援センター・がん相談支援センターと入退院支援センターが統合 Hospital Admission Support Center was unified into Consultation Support Center and Cancer Resource Center. 地域循環・若手医師・女性医師支援学講座(寄附講座)期間延長(令和2年4月1日～令和3年3月31日) Integrated Support Systems for Regional Medical Care, Young Physicians and Women Physicians was extended.
	7月 July	内分泌・代謝・老年内科学講座を代謝・内分泌内科学講座へ名称変更 Department of Metabolism and Endocrinology was established.
	12月 December	総合診療医センターを設置 General Physician Center was established.
2021	令和3年4月 April	がんゲノム診療センターを設置 Center for Cancer Genome Diagnosis and Treatment was established. 救急部を高度救命救急センターに名称変更 Advanced Emergency and Critical Care Center was established. 地域循環・若手医師・女性医師支援学講座(寄附講座)期間延長(令和3年4月1日～令和4年3月31日) Integrated Support Systems for Regional Medical Care, Young Physicians and Women Physicians was extended.
	令和3年12月 December	薬物動態学講座を設置 Department of Pharmacokinetics was established.
2022	令和4年4月 April	男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座(寄附講座)を設置(令和4年4月1日～令和5年3月31日) Regional Collaborative Dept of Oga Namahage Community Medicine was established. 不整脈先進治療学講座(寄附講座)を設置(令和4年4月1日～令和7年3月31日) Division of Advanced Arrhythmia Management was established.
	令和4年12月 December	先進デジタル医学・医療教育学講座を設置 Department of Innovative and Digitalized Medical Education was established. 医学系研究科附属デジタル医学・医療教育推進センターを設置 Center for Innovative and Digitalized Medical Education was established. 神経内科を脳神経内科へ名称変更 Neurology was established. ヴェィエブス応用科学大学と学生交換協定締結 Student Exchange Agreement on Academic Cooperation were conclude With Vives University of Applied Sciences.
	令和5年3月 March	全学センターとして感染統括制御・疫学・分子病態研究センターを設置 Center for Integrated Control, Epidemiology and Molecular Pathophysiology of Infectious Diseases was established.
2023	4月 April	医学系研究科附属遠隔医療推進開発研究センターを設置 Telemedicine Development and Research Center was established. 男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座(寄附講座)期間延長(令和5年4月1日～令和6年3月31日) Regional Collaborative Dept of Oga Namahage Community Medicine was extended.
	6月 June	輸血部を輸血細胞治療・移植再生医療センターへ名称変更 Center for Transfusion medicine and cell therapy・Transplant regenerative medicine was established.
	7月 July	ひと街づくり研究所(寄附研究部門)を設置(令和5年7月1日～令和6年6月30日) Institute for Human and Community Development was established. 東サラエボ大学と部局間交流協定締結 Memorandum of Understanding on Academic Cooperation were concluded between Graduate School of University of Eastern Sarajevo



医学専攻 Doctoral Course in Medicine	
系 Division	講座名 Department
病態制御医学系 Bioregulatory Medicine	形態解析学・器官構造学, 細胞生物学, 細胞生理学, 器官病態学, 分子機能学・代謝機能学, 生体防衛学, 代謝・内分泌内科学, 総合診療・検査診断学, 麻酔・蘇生・疼痛管理学, 放射線医学, 眼科学, 精神科学, 微生物学, 救急・集中治療医学, 薬物動態学 Department of Anatomy, Department of Cell Biology and Morphology, Department of Cell Physiology, Department of Cellular and Organ Pathology, Department of Biochemistry and Metabolic Science, Department of Immunology, Department of Metabolism and Endocrinology, Department of General Medical Practice and Laboratory Diagnostic Medicine, Department of Anesthesia and Intensive Care Medicine, Department of Radiology, Department of Ophthalmology, Department of Neuropsychiatry, Department of Medical Biology, Department of Emergency and Critical Care Medicine, Department of Pharmacokinetics.
腫瘍制御医学系 Oncoregulatory Medicine	分子生化学, 分子病態学・腫瘍病態学, 消化器内科学・神経内科学, 血液・腎臓・膠原病内科学, 消化器外科学, 胸部外科学, 腎泌尿器科学, 臨床腫瘍学, 地域がん医療学 Department of Molecular Medicine and Biochemistry, Department of Molecular Pathology and Tumor Pathology, Department of Gastroenterology and Neurology, Department of Hematology, Nephrology, and Rheumatology, Department of Gastroenterological Surgery, Department of Thoracic Surgery, Department of Urology, Department of Clinical Oncology, Department of Comprehensive Cancer Control.
機能展開医学系 Organ Function-Oriented Medicine	器官・統合生理学, 心臓血管外科学, 整形外科学, 皮膚科学・形成外科学, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学, 脳神経外科学, 循環器内科学, 呼吸器内科学, 情報制御学・実験治療学, 小児科学, 産婦人科学, 小児外科学 Department of Integrative Physiology, Department of Cardiovascular Surgery, Department of Orthopedic Surgery, Department of Dermatology and Plastic Surgery, Department of Otorhinolaryngology - Head and Neck Surgery, Department of Neurosurgery, Department of Cardiovascular Medicine, Department of Respiratory Medicine, Department of Biological Informatics and Experimental Therapeutics, Department of Pediatrics, Department of Obstetrics and Gynecology, Department of Pediatric Surgery.
社会環境医学系 Public Health and Environmental Medicine	法医学, 衛生学・公衆衛生学, 医学教育学, 医療情報学, 先進デジタル医療・医療教育学 Department of Forensic Sciences, Department of Environmental health science and Public Health, Department of Medical Education, Department of Medical Informatics, Department of Innovative and Digitalized Medical Education.
臨床教育協力部門 Section of Clinical Educational Cooperation	薬剤学, 歯科口腔外科学, 腎疾患先端医療学 Department of Pharmacy, Department of Dentistry and Oral Surgery, Department of Advanced Treatment for Kidney Disease

保健学専攻 Doctoral Course in Health Sciences	
講座名 Department	
看護学 Nursing 理学療法学 Physical Therapy 作業療法学 Occupational Therapy	
医学部 Faculty of Medicine	
寄附講座 Endowed Departments	
男鹿なまはげ地域医療・ 総合診療連携講座 (R5.4.1～R6.3.31) Regional Collaborative Dept of Oga Namahage Community Medicine 不整脈先進治療学講座 (R4.4.1～R7.3.31) Division of Advanced Arrhythmia Management	
寄附研究部門 Endowed Departments	
ひと街づくり研究所 (R5.7.1～R6.6.30) Institute for Human and Community Development	



①歴代学部長等 Chronological Lists of Deans and Directors

医学系研究科長		Dean, Graduate School of Medicine	
氏名	Name	在任期間	Term of Office
本橋 豊	Yutaka Motohashi	平成21.4.1～平成24.3.31	April 1, 2009～March 31, 2012
澤田 賢一	Kenichi Sawada	平成24.4.1～平成26.3.31	April 1, 2012～March 31, 2014
伊藤 宏	Hiroshi Ito	平成26.4.1～平成29.3.31	April 1, 2014～March 31, 2017
尾野 恭一	Kyoichi Ono	平成29.4.1～令和4.3.31	April 1, 2017～March 31, 2022
羽瀨 友則	Tomonori Habuchi	令和4.4.1～	April 1, 2022～

※平成21年度から大学院医学系研究科の部局化による。

医学部長		Deans, School of Medicine	
氏名	Name	在任期間	Term of Office
九嶋 勝司	Katsuji Kushima	昭和45.4.1～昭和51.2.22	April 1, 1970～February 22, 1976
中井 健五	Kengo Nakai	昭和51.2.23～昭和55.2.22	February 23, 1976～February 22, 1980
渡部 美種	Yoshitane Watabe	昭和55.2.23～昭和61.2.22	February 23, 1980～February 22, 1986
加美山 茂利	Shigetoshi Kamiyama	昭和61.2.23～平成2.2.22	February 23, 1986～February 22, 1990
綿貫 勤	Tsutomu Watanuki	平成2.2.23～平成6.2.22	February 23, 1990～February 22, 1994
小川 哲朗	Tetsuro Ogawa	平成6.2.23～平成8.2.22	February 23, 1994～February 22, 1996
正宗 研	Osamu Masamune	平成8.2.23～平成10.2.22	February 23, 1996～February 22, 1998
三浦 亮	Akira Miura	平成10.2.23～平成13.2.22	February 23, 1998～February 22, 2001
飯島 俊彦	Toshihiko Iijima	平成13.2.23～平成19.3.31	February 23, 2001～March 31, 2007
本橋 豊	Yutaka Motohashi	平成19.4.1～平成24.3.31	April 1, 2007～March 31, 2012
澤田 賢一	Kenichi Sawada	平成24.4.1～平成26.3.31	April 1, 2012～March 31, 2014
伊藤 宏	Hiroshi Ito	平成26.4.1～平成29.3.31	April 1, 2014～March 31, 2017
尾野 恭一	Kyoichi Ono	平成29.4.1～令和4.3.31	April 1, 2017～March 31, 2022
羽瀨 友則	Tomonori Habuchi	令和4.4.1～	April 1, 2022～

附属病院長 Directors, University Hospital

氏名	Name	在任期間	Term of Office
前多豊吉	Toyokishi Maeta	昭和46. 4.1 ~ 昭和51. 4.1	April 1, 1971 ~ April 1, 1976
浦山晃	Akira Urayama	昭和51. 4.2 ~ 昭和55. 4.1	April 2, 1976 ~ April 1, 1980
増田久之	Hisayuki Masuda	昭和55. 4.2 ~ 昭和56. 8.9	April 2, 1980 ~ August 9, 1981
金澤知博	Tomohiro Kanazawa	昭和56. 8.10 ~ 昭和60. 8.9	August 10, 1981 ~ August 9, 1985
眞木正博	Masahiro Maki	昭和60. 8.10 ~ 平成元. 8.9	August 10, 1985 ~ August 9, 1989
加藤敏郎	Toshio Kato	平成元. 8.10 ~ 平成3. 8.9	August 10, 1989 ~ August 9, 1991
阿保七三郎	Shichisaburo Abo	平成3. 8.10 ~ 平成7. 8.9	August 10, 1991 ~ August 9, 1995
小山研二	Kenji Koyama	平成7. 8.10 ~ 平成9. 8.9	August 10, 1995 ~ August 9, 1997
佐藤光三	Kozo Sato	平成9. 8.10 ~ 平成13. 3.31	August 10, 1997 ~ March 31, 2001
櫻木章三	Shozo Sakuragi	平成13. 4.1 ~ 平成15. 3.31	April 1, 2001 ~ March 31, 2003
加藤哲夫	Tetsuo Kato	平成15. 4.1 ~ 平成19. 3.31	April 1, 2003 ~ March 31, 2007
溝井和夫	Kazuo Mizoi	平成19. 4.1 ~ 平成22. 3.31	April 1, 2007 ~ March 31, 2010
荏原順一	Junichi Chihara	平成22. 4.1 ~ 平成24. 5.15	April 1, 2010 ~ May 15, 2012
(事務取扱) 澤田賢一	Kenichi Sawada	平成24. 5.16 ~ 平成24. 6.30	May 16, 2012 ~ June 30, 2012
伊藤宏	Hiroshi Ito	平成24. 7.1 ~ 平成26. 3.31	July 1, 2012 ~ March 31, 2014
羽瀧友則	Tomonori Habuchi	平成26. 4.1 ~ 平成31. 3.31	April 1, 2014 ~ March 31, 2019
南谷佳弘	Yoshihiro Minamiya	平成31. 4.1 ~	April 1, 2019 ~



②名誉教授

Emeritus Professors

氏名 Name	在職中担当講座 Specialty	称号授与年月日 Date of Awarding
須藤恒久 Tsunehisa Suto	微生物学講座 Microbiology	平成4.4.1 April 1, 1992
綿貫勤 Tsutomu Watanuki	病理学第一講座 Pathology I	平成6.4.1 April 1, 1994
滝澤行雄 Yukio Takizawa	公衆衛生学講座 Public Health	平成7.4.1 April 1, 1995
阿保七三郎 Shichisaburo Abo	外科学第二講座 Surgery II	平成8.4.1 April 1, 1996
小川哲朗 Tetsuro Ogawa	生理学第一講座 Biochemistry I	平成9.4.1 April 1, 1997
菱川泰夫 Yasuo Hishikawa	精神科学講座 Psychiatry	平成10.4.1 April 1, 1998
田島陽太郎 Youtaro Tashima	生化学第二講座 Biochemistry II	平成13.4.1 April 1, 2001
佐藤光三 Kozo Sato	整形外科学講座 Orthopedic Surgery	平成13.4.1 April 1, 2001
吉村堅太郎 Kentaro Yoshimura	寄生虫学講座 Parasitology	平成14.4.1 April 1, 2002
加藤哲郎 Testuro Kato	泌尿器科学講座 Urology	平成15.4.1 April 1, 2003
櫻木章三 Shozo Sakuragi	眼科学講座 Ophthalmology	平成15.4.1 April 1, 2003
中込治 Osamu Nakagomi	社会環境医学講座 Social Medicine	平成15.5.1 May1, 2003
佐藤暢雄 Nobuo Sato	社会環境医学講座 Social Medicine	平成17.4.1 April 1, 2005
伊藤正毅 Seiki Ito	内科学講座 Internal Medicine	平成17.10.1 October 1, 2005
飯島俊彦 Toshihiko Iijima	機能制御医学講座 Physiology and Pharmacology	平成19.4.1 April 1, 2007
加藤哲夫 Tetsuo Kato	外科学講座 Surgery	平成19.4.1 April 1, 2007
高田五郎 Goro Takada	生殖発達医学講座 Reproductive and Developmental Medicine	平成19.4.1 April 1, 2007
吉崎克明 Katsuaki Yoshizaki	基礎看護学講座 Basic Nursing	平成20.4.1 April 1, 2008
渡會二郎 Jiro Watarai	統合医学講座 Integrated Medicine	平成21.4.1 April 1, 2009
鈴木敏夫 Toshio Suzuki	薬剤部 Pharmacy	平成21.4.1 April 1, 2009
稲場齊 Hitoshi Inaba	基礎理学療法学講座 Basic Physical Therapy	平成21.4.1 April 1, 2009
増田弘毅 Hirotake Masuda	器官病態学講座 Cellular and Organ Pathology	平成22.4.1 April 1, 2010
田中俊誠 Toshinobu Tanaka	産婦人科学講座 Obstetrics and Gynecology	平成22.4.1 April 1, 2010
吉岡尚文 Naofumi Yoshioka	社会環境医学講座 Social Medicine	平成24.4.1 April 1, 2012
榎本克彦 Katsuhiko Enomoto	分子病態学・腫瘍病態学講座 Department of Molecular Pathology and Tumor Pathology	平成25.4.1 April 1, 2013
中村彰 Akira Nakamura	医科学情報学・国際交流学講座 Department of Medical Information Science and Global Issues in Medicine	平成25.4.1 April 1, 2013
水沼秀夫 Hideo Mizunuma	基礎看護学講座 Basic Nursing	平成25.4.1 April 1, 2013
浅沼義博 Yoshihiro Asanuma	臨床看護学講座 Department of Clinical Nursing	平成26.4.1 April 1, 2014
多治見公高 Kimitaka Tajimi	救急・集中治療医学講座 Department of Emergency and Critical Care Medicine	平成26.9.1 September 1, 2014

氏名 Name	在職中担当講座 Specialty	称号授与年月日 Date of Awarding
大友和夫 Kazuo Otomo	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	平成27.4.1 April 1, 2015
進藤伸一 Shinichi Shindo	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	平成27.4.1 April 1, 2015
妹尾春樹 Haruki Seno	細胞生物学講座 Department of Cell Biology and Morphology	平成28.4.1 April 1, 2016
石川和夫 Kazuo Isikawa	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 Department of Otorhinolaryngology Head and Neck Surgery	平成28.4.1 April 1, 2016
湯浅孝男 Takao Yuasa	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	平成28.4.1 April 1, 2016
工藤俊輔 Shunsuke Kudo	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	平成28.4.1 April 1, 2016
石井範子 Noriko Ishii	基礎看護学講座 Department of Basic Nursing	平成29.4.1 April 1, 2017
阿部寛 Hiroshi Abe	形態解析学・器官構造学講座 Department of Anatomy	平成30.4.1 April 1, 2018
塩谷隆信 Tadanobu Shioya	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	平成30.4.1 April 1, 2018
清水徹男 Tetsuo Shimizu	精神科学講座 Department of Neuropsychiatry	平成30.4.1 April 1, 2018
西川俊昭 Toshiaki Nishikawa	麻酔・蘇生・疼痛管理学講座 Department of Anesthesia and Intensive Care Medicine	平成31.4.1 April 1, 2019
眞鍋求 Motomu Manabe	皮膚科学・形成外科学講座 Department of Dermatology and Plastic Surgery	平成31.4.1 April 1, 2019
村田勝敬 Katsuyuki Murata	環境保健学講座 Department of Environmental Health Sciences	平成31.4.1 April 1, 2019
吉富健志 Takeshi Yoshitomi	眼科学講座 Department of Ophthalmology	平成31.4.1 April 1, 2019
山田祐一郎 Yuichiro Yamada	内分泌・代謝・老年内科学講座 Department of Endocrinology, Diabetes and Geriatric Medicine	令和2.4.1 April 1, 2020
平元泉 Izumi Hiramoto	母子看護学講座 Department of Maternity of Child Nursing	令和2.4.1 April 1, 2020
河谷正仁 Masahito Kawatani	器官・統合生理学講座 Department of Neurophysiology	令和3.4.1 April 1, 2021
篠原ひとみ Hitomi Shinohara	看護学講座 Department of Nursing	令和3.4.1 April 1, 2021
佐藤滋 Shigeru Sato	腎疾患先端医療センター Center for Kidney Disease and Transplantation	令和3.4.1 April 1, 2021
橋本学 Manabu Hashimoto	放射線医学講座 Department of Radiology	令和4.4.1 April 1, 2022
山本雄造 Yuzo Yamamoto	消化器外科学講座 Department of Gastroenterological Surgery	令和4.4.1 April 1, 2022
金城正治 Masaji Kinjyo	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	令和4.4.1 April 1, 2022
佐々木真紀子 Makiko Sasaki	看護学講座 Department of Nursing	令和4.4.1 April 1, 2022
新山喜嗣 Yoshitsugu Niyama	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	令和4.4.1 April 1, 2022
山本浩史 Hiroshi Yamamoto	心臓血管外科学講座 Department of Cardiovascular Surgery	令和5.4.1 April 1, 2023
石川隆志 Takashi Ishikawa	作業療法学講座 Department of Occupational Therapy	令和5.4.1 April 1, 2023
伊藤登茂子 Tomoko Ito	看護学講座 Department of Nursing	令和5.4.1 April 1, 2023
岡田恭司 Koji Okada	理学療法学講座 Department of Physical Therapy	令和5.4.1 April 1, 2023
兒玉秀也 Hideya Kodama	看護学講座 Department of Nursing	令和5.4.1 April 1, 2023

③ 役職員等

Administration Staffs

令和5年7月現在 As of July, 2023

医学系研究科長・医学部長 Dean, Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine	羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi	副研究科長(医学専攻担当) Deputy Dean, Graduate School of Medicine (Doctoral Course in Medicine)	清 水 宏 明 Hiroaki Shimizu
附属病院長 Director, University Hospital	南 谷 佳 弘 Yoshihiro Minamiya	副研究科長(保健学専攻担当),保健学専攻長・保健学科長 Deputy Dean, Graduate School of Medicine (Doctoral Course in Health Sciences) Director, Doctoral Course in Health Sciences and School of Health Sciences	安 藤 秀 明 Hideaki Ando
附属図書館医学部分館長 Director, Medical School Library	八月朔日 泰和 Yasukazu Hozumi	研究科長補佐(医学専攻担当) Advisor to the Dean (Doctoral Course in Medicine)	海老原 敬 Takashi Ebihara
テクニカルセンター長 Director, Medical Technology Center	羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi	研究科長補佐(保健学専攻担当) Advisor to the Dean (Doctoral Course in Health Sciences)	若 狭 正 彦 Masahiko Wakasa
副研究科長(医学専攻担当) Deputy Dean, Graduate School of Medicine (Doctoral Course in Medicine)	板 東 良 雄 Yoshio Bando		

役職員・医学専攻・医学科執行役員会議 Faculty Executive Board Meeting

研究科長,医学専攻長・医学科長,執行役員会議議長 Dean, Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine, Chief Executive Officer	羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi	医学専攻・医学科予算委員長 Director, Budget	寺 田 幸 弘 Yukihiko Terada
附属病院長 Director, University Hospital	南 谷 佳 弘 Yoshihiro Minamiya	医学系研究科・医学部倫理委員長 Director, Ethics	脇 裕 典 Hironori Waki
教育研究評議会評議員,研究科長が推薦する副研究科長,医学専攻・医学科評価委員長 Councilor of Educational and Research Council, Deputy Dean of recommended by the Dean, Director, Evaluation	板 東 良 雄 Yoshio Bando	医学専攻・医学科入試委員長 Director, Entrance exam	後 藤 明 輝 Akiteru Goto
研究科長が推薦する副研究科長 Deputy Dean of recommended by the Dean	清 水 宏 明 Hiroaki Shimizu	医学専攻長が指名する者 Person recommended by the Dean	八月朔日 泰和 Yasukazu Hozumi
研究科長が推薦する研究科長補佐 Advisor to the Dean of recommended by the Dean,	海老原 敬 Takashi Ebihara	医学専攻長が指名する者 Person recommended by the Dean	植 木 重 治 Shigeharu Ueki
医学専攻・医学科学務委員長 Director, Education	中 山 勝 敏 Katsutoshi Nakayama	事務部長 Executive Officer (Director, Administration Department)	一 條 敬 一 Keichi Ichijo

役職員・附属病院執行部会議 Executives Meeting

附属病院長 Director, University Hospital	南 谷 佳 弘 Yoshihiro Minamiya	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	中 永 士 師 明 Hajime Nakae
副病院長 Vice-Director, University Hospital	寺 田 幸 弘 Yukihiko Terada	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	脇 裕 典 Hironori Waki
副病院長 Vice-Director, University Hospital	三 島 和 夫 Kazuo Mishima	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	新 山 幸 俊 Yukitoshi Niyama
副病院長 Vice-Director, University Hospital	渡 邊 博 之 Hiroyuki Watanabe	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	飯 島 克 則 Katsunori Iijima
副病院長 Vice-Director, University Hospital	中 村 美 央 Mio Nakamura	病院長補佐 University Hospital Director's Aide	一 條 敬 一 Keichi Ichijo
病院長補佐 University Hospital Director's Aide	中 山 勝 敏 Katsutoshi Nakayama		

大学院医学系研究科・医学専攻

Graduate School of Medicine Doctoral Course in Medicine

系 Division	講座 Department	教授 Professor	系 Division	講座 Department	教授 Professor
病態制御 医学系 Bioregulatory Medicine	形態解析学・器官構造学 Department of Anatomy	板 東 良 雄 Yoshio Bando	機能展開 医学系 Organ Function- Oriented Medicine	器官・統合生理学 Department of Integrative Physiology	沼 田 朋 大 Tomohiro Numata
	細胞生物学 Department of Cell Biology and Morphology	八月朔日 泰 和 Yasukazu Hozumi		心臓血管外科学 Department of Cardiovascular Surgery	
	細胞生理学 Department of Cell Physiology	三 木 崇 史 Takafumi Miki		整形外科学 Department of Orthopedic Surgery	宮 腰 尚 久 Naohisa Miyakoshi
	器官病態学 Department of Cellular and Organ Pathology	後 藤 明 輝 Akiteru Goto		皮膚科学・形成外科学 Department of Dermatology and Plastic Surgery	河 野 通 浩 Michihiro Kono
	分子機能学・代謝機能学 Department of Biochemistry and Metabolic Science			耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 Department of Otorhinolaryngology- Head and Neck Surgery	山 田 武 千 代 Takechiyo Yamada
	生体防御学 Department of Immunology	石 井 聡 Satoshi Ishii		脳神経外科学 Department of Neurosurgery	清 水 宏 明 Hiroaki Shimizu
	代謝・内分泌内科学 Department of Metabolism and Endocrinology	脇 裕 典 Hironori Waki		循環器内科学 Department of Cardiovascular Medicine	渡 邊 博 之 Hiroyuki Watanabe
	総合診療・検査診断学 Department of General Medical Practice and Laboratory Diagnostic Medicine	植 木 重 治 Shigeharu Ueki		呼吸器内科学 Department of Respiratory Medicine	中 山 勝 敏 Katsutoshi Nakayama
	麻酔・蘇生・疼痛管理学 Department of Anesthesia and Intensive Care Medicine	新 山 幸 俊 Yukitoshi Niyama		情報制御学・実験治療学 Department of Biological Informatics and Experimental Therapeutics	齋 藤 康 太 Kota Saito
	放射線医学 Department of Radiology	森 菜 緒 子 Naoko Mori		小児科学 Department of Pediatrics	高 橋 勉 Tsutomu Takahashi
	眼科学 Department of Ophthalmology	岩 瀬 剛 Takeshi Iwase		産婦人科学 Department of Obstetrics and Gynecology	寺 田 幸 弘 Yukihiro Terada
	精神科学 Department of Neuropsychiatry	三 島 和 夫 Kazuo Mishima		小児外科学 Department of Pediatric Surgery	
	腫瘍制御 医学系 Oncoregulatory Medicine	微生物学 Department of Medical Biology		海老原 敬 Takashi Ebihara	社会環境 医学系 Public Health and Environmental Medicine
救急・集中治療医学 Department of Emergency and Critical Care Medicine		中 永 士 師 明 Hajime Nakae	衛生学・公衆衛生学 Department of Environmental health science and Public Health	野 村 恭 子 Kyoko Nomura	
薬物動態学 Department of Pharmacokinetics		三 浦 昌 朋 Masatomo Miura	医学教育学 Department of Medical Education	長谷川 仁 志 Hitoshi Hasegawa	
分子生化学 Department of Dharmacokinetics		田 中 正 光 Masamitsu Tanaka	先進デジタル医学・医療教育学 Department of Innovative and Digitalized Medical Education	及 川 沙 那 佳 Sayaka Oikawa	
分子病態学・腫瘍病態学 Department of Molecular Pathology and Tumor Pathology		大 森 泰 文 Yasufumi Omori	医療情報学 Department of Medical Informatics		
消化器内科学・神経内科学 Department of Gastroenterology and Neurology		飯 島 克 則 Katsunori Iijima			
血液・腎臓・膠原病内科学 Department of Hematology, Nephrology, and Rheumatology		高 橋 直 人 Naoto Takahashi			
消化器外科学 Department of Gastroenterological Surgery		有 田 淳 一 Junichi Arita			
胸部外科学 Department of Thoracic Surgery		南 谷 佳 弘 Yoshihiro Minamiya			
腎泌尿器科学 Department of Urology		羽 瀧 友 則 Tomonori Habuchi			
臨床腫瘍学 Department of Clinical Oncology	柴 田 浩 行 Hiroyuki Shibata				
地域がん医療学 Department of Comprehensive Cancer Control					

大学院医学系研究科・保健学専攻 Graduate School of Medicine Doctoral Course in Health Science

講座 Department	教授 Professor	講座 Department	教授 Professor
看護学 Department of Nursing	吉岡 政人 Masato Yoshioka	理学療法学 Department of Physical Therapy	佐竹 将宏 Masahiro Satake
	工藤 由紀子 Yukiko Kudo		竹内 直行 Naoyuki Takeuchi
	安藤 秀明 Hideaki Ando		若狭 正彦 Masahiko Wakasa
	眞壁 幸子 Sachiko Makabe		本郷 道生 Michio Hongo
	鈴木 圭子 Keiko Suzuki	作業療法学 Department of Occupational Therapy	吉岡 年明 Toshiaki Yoshioka
	米山 奈奈子 Nanako Yoneyama		太田 英伸 Hidenobu Ohta
	久米 裕 Yu Kume		

医学部 Faculty Medicine

寄附講座 Endowed Departments	男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座 Regional Collaborative Dept of Oga Namahage Community Medicine	寄附講座等教員 Endowed Chair Researchers	1人
	不整脈先進治療学講座 Division of Advanced Arrhythmia Management	寄附講座等教員 Endowed Chair Researchers	1人
寄附研究部門 Endowed Research Department	ひと街づくり研究所 Institute for Human and Community Development		



保健学科棟
Building for Health Science

診療科 Clinical Divisions		
消化器内科 Gastroenterology	科長(兼)(教授) Director Professor	飯島克則 Katsunori Iijima
脳神経内科 Neurology	科長(兼)(教授) Director Professor	飯島克則 Katsunori Iijima
循環器内科 Cardiovascular Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	渡邊博之 Hiroyuki Watanabe
呼吸器内科 Respiratory Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	中山勝敏 Katsutoshi Nakayama
血液内科 Hematology	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
腎臓内科 Nephrology	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
リウマチ科 Rheumatology	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology	科長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
老年内科 Geriatric Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
消化器外科 Gastroenterological Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	有田淳一 Junichi Arita
呼吸器外科 Chest Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	南谷佳弘 Yoshihiro Minamiya
食道外科 Esophageal Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	南谷佳弘 Yoshihiro Minamiya
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrine Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	南谷佳弘 Yoshihiro Minamiya
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	角浜孝行 Takayuki Kadohama
脳神経外科 Neurosurgery	科長(兼)(教授) Director Professor	清水宏明 Hiroaki Shimizu
小児外科 Pediatric Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	水野大 Masaru Mizuno
小児科 Pediatrics	科長(兼)(教授) Director Professor	高橋勉 Tsumotomi Takahashi
産科婦人科 Obstetrics and Gynecology	科長(兼)(教授) Director Professor	寺田幸弘 Yukihiro Terada
精神科 Psychiatry	科長(兼)(教授) Director Professor	三島和夫 Kazuo Mishima
整形外科 Orthopedic Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	宮腰尚久 Naohisa Miyakoshi
皮膚科 Dermatology	科長(兼)(教授) Director Professor	河野通浩 Michihiro Kono
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	科長(兼)(教授) Director Professor	河野通浩 Michihiro Kono
泌尿器科 Urology	科長(兼)(教授) Director Professor	羽瀨友則 Tomonori Habuchi
眼科 Ophthalmology	科長(兼)(教授) Director Professor	岩瀬剛 Takeshi Iwase
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	科長(兼)(教授) Director Professor	山田武千代 Takechiyo Yamada
放射線診断科 Diagnostic Radiology	科長(兼)(教授) Director Professor	森菜緒子 Naoko Mori
放射線治療科 Radiation Oncology	科長(兼)(教授) Director Professor	森菜緒子 Naoko Mori
麻酔科 Anesthesiology	科長(兼)(教授) Director Professor	新山幸俊 Yukitoshi Niyama
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	宮腰尚久 Naohisa Miyakoshi
腫瘍内科 Clinical Oncology	科長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
救急科 Emergency Medicine	科長(兼)(教授) Director Professor	中永士師明 Hajime Nakae
病理診断科 Clinical Pathology	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	南條博 Hiroshi Nanjo
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	科長(兼)(准教授) Director Associate Professor	福田雅幸 Masayuki Fukuda
高齢者臨床検査科 Geriatric clinical-examination	科長(兼)(教授) Director Professor	南谷佳弘 Yoshihiro Minamiya

中央診療施設等 Central Clinical Facilities		
中央検査部 Central Laboratory Division	部長(兼)(教授) Director Professor	植木重治 Shigeharu Ueki
中央手術部 Central Operating Division	部長(兼)(教授) Director Professor	新山幸俊 Yukitoshi Niyama
中央放射線部 Central Radiology Division	部長(兼)(教授) Director Professor	森菜緒子 Naoko Mori
中央材料部 Central Supplying Division	部長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
集中治療部 Intensive Care Unit	部長(兼)(教授) Director Professor	中永士師明 Hajime Nakae
高度救命救急センター Advanced Emergency and Critical Care Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	中永士師明 Hajime Nakae
輸血細胞治療・移植再生医療センター Center for Transfusion medicine and cell therapy・Transplant regenerative medicine	部長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
リハビリテーション部 Division of Rehabilitation	部長(兼)(准教授) Director Associate Professor	粕川雄司 Yuuji Kasukawa
医療情報部 Division of Medical Informatics	部長(兼)(教授) Director Professor	南谷佳弘 Yoshihiro Minamiya
血液浄化療法部 Division of Blood Purification	部長(兼)(教授) Director Professor	羽瀨友則 Tomonori Habuchi
中央病歴部 Division of Medical Records	部長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
周産母子センター Perinatal Medical Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	寺田幸弘 Yukihiro Terada
病理部 Division of Clinical Pathology	部長(兼)(准教授) Director Associate Professor	南條博 Hiroshi Nanjo
総合診療部 General Clinical Division	部長(兼)(教授) Director Professor	植木重治 Shigeharu Ueki
臨床研究支援センター Clinical Research Promotion and Support Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	三島和夫 Kazuo Mishima
臨床工学センター Clinical Engineering Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	新山幸俊 Yukitoshi Niyama
移植検査センター Center of Histocompatibility and Immunogenetics	センター長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
総合臨床教育研修センター Center for Medical Education and Training	センター長(兼)(教授) Director Professor	高橋直人 Naoto Takahashi
内視鏡・超音波センター Endoscopy and Ultrasonography Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	飯島克則 Katsunori Iijima
遺伝子医療部 Division of Genetic Counselling	部長(兼)(教授) Director Professor	高橋勉 Tsumotomi Takahashi
腫瘍情報センター Center for Cancer Registry and Information Services	センター長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
地域医療患者支援センター Center for Community Healthcare and Patient Support	センター長(兼)(教授) Director Professor	飯島克則 Katsunori Iijima
化学療法部 Division of Cancer Chemotherapy	部長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
緩和ケアセンター Palliative Care Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	安藤秀明 Hideaki Ando
肝疾患相談センター Liver Disease Consultation Center	センター長(兼)(准教授) Director Associate Professor	後藤隆 Takashi Goto
栄養管理部 Division of Nutrition Management	部長(兼)(教授) Director Professor	脇裕典 Hironori Waki
腎疾患先端医療センター Center for Kidney Disease and Transplantation	センター長(兼)(教授) Director Professor	羽瀨友則 Tomonori Habuchi
脳卒中包括医療センター Stroke Comprehensive Medical Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	清水宏明 Hiroaki Shimizu
認知症医療センター Medical Center for the Major Cognitive Disorder	センター長(兼)(教授) Director Professor	南谷佳弘 Yoshihiro Minamiya
総合診療医センター General Physician Center	センター長(兼)(教授) Director Professor	植木重治 Shigeharu Ueki
がんゲノム診療センター Center for Cancer Genome Diagnosis and Treatment	センター長(兼)(教授) Director Professor	柴田浩行 Hiroyuki Shibata
NP室 Division of Nurse Practitioner	室長(兼)(教授) Director Professor	安藤秀明 Hideaki Ando

※発令上の職名を掲載。

医療安全管理部 <small>Division of Medical Security and Patient Safety</small>	
部長(兼) (准教授) Director Associate Professor	木村 哲 Tetsu Kimura
副部長(兼) 薬剤主任 Vice-Director	笹 渕 航 平 Kohei Sasabuchi
副部長(兼) 看護師長 Vice-Director	小 林 育 子 Ikuko Kobayashi

感染制御部 <small>Division of Infection Control and Prevention</small>	
部長(兼) (准教授) Director Associate Professor	嵯 峨 知 生 Tomoo Saga
副部長(兼) 看護師長 Vice Director	石 川 陽 子 Yoko Ishikawa

薬剤部 <small>Department of Pharmacy</small>	
部長(兼) (教授) Director Professor	南 谷 佳 弘 Yoshihiro Minamiya
副薬剤部長(兼) (講師) Vice-Director Lecturer	赤 嶺 由 美 子 Yumiko Akamine
副薬剤部長 Vice-Director	佐々木 克 也 Katsuya Sasaki
副薬剤部長 Vice-Director	加賀谷 英 彰 Hideaki Kagaya

事務部 <small>Administration Department</small>	
部長 Director	一 條 敬 一 Keichi Ichijo
総務課長 Head of General Affairs Division	飯 塚 博 幸 Hiroyuki Iizuka
企画管理課長 Head of planning-Administration Division	熊 谷 文 隆 Fumitaka Kumagai
調達課長 Head of Supplying Division	小 林 一 俊 Kazutoshi Kobayashi
学務課長 Head of Educational Affairs Division	佐々木 繁 男 Shigeo Sasaki
医事課長 Head of Medical Affairs Division	山 形 知 子 Tomoko Yamagata

看護部 <small>Division of Nursing</small>	
部長 Director	中 村 美 央 Mio Nakamura
副部長 Vice-Director	山 田 楼 子 Roko Yamada
副部長 Vice-Director	小 林 禎 子 Teiko Kobayashi
副部長 Vice-Director	小 松 千 賀 子 Chikako Komatsu
副部長 Vice-Director	佐々木 志のぶ Shinobu Sasaki

④ 職員の現員

Number of Staff

令和5年4月現在 As of April, 2023

区 分 Classification	医学系研究科 Graduate School of Medicine		医学部 Faculty of Medicine	附属病院 University Hospital	
	医学専攻 Doctoral Course in Medicine	保健学専攻 Doctoral Course in Health Sciences			
教育系職員	教授 Professor	34 人	13 人	1 人	0 人
	准教授 Associate Professor	19 (1)	11	0	7
	講師 Lecturer	11	6	0	22 (1)
	助教 Research Associate	52 (1)	19	1	50 (10)
小 計 Sub Total	116 (2)	49	2	79 ※ (11)	
	165 (2)				
医療系職員(看護師等を除く)		0	0	145	
医療系職員(看護師等)		0	0	701	
事務・技術系職員 Administration officer, Technical staff		111			
合 計 Total		1,203 ※ (13)			

※ () は特任教員で外数

教育・研究トピックス

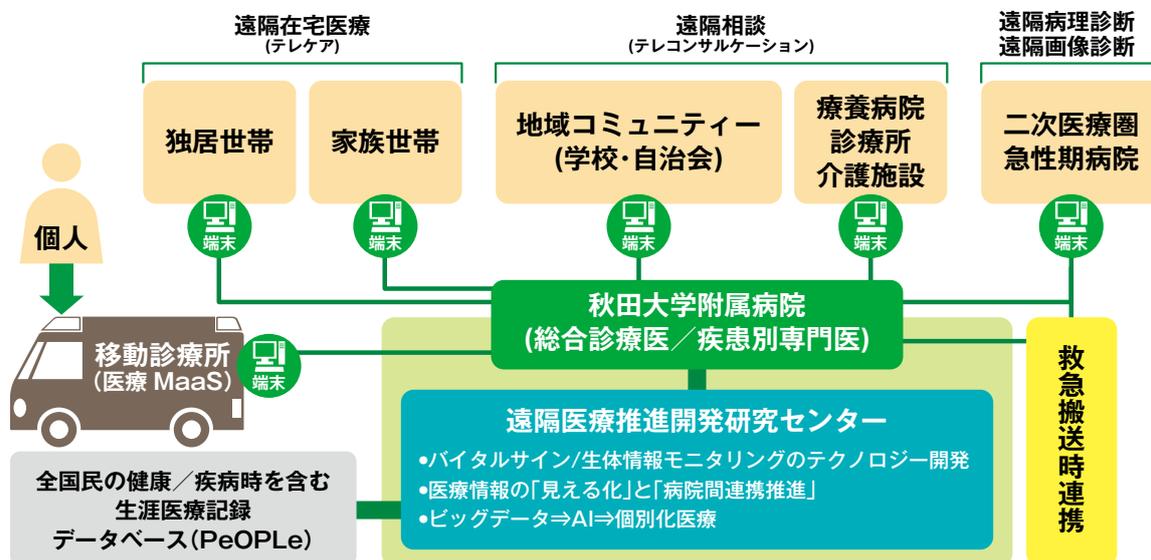
Educational and Research Topics



附属病院高度医療への取り組み

高齢化医療過疎地域における遠隔医療モデルの構築

遠隔医療の推進は秋田県のように限界集落を多く抱えた広域医療過疎の地域においては、県民の健康を保つ重要な役割と考えられます。本センターは、遠隔医療に関わる研究を通じて、広域医療過疎地域における新しい医療の在り方を模索および実装していく使命を有しています。2012年に始まった入院病床を機能分化させる政府の施策によって、急性期病院と長期療養(慢性期)病院が分かれ、「治す」医療と「癒す」医療の分離が進んでいます。また患者高齢化が進む中、人口減少を見据えて病床数の減少も見込まれます。つまりこの施策により急性期病院への入院が高度医療対象者のみになる上、病床数の点で急性期治療後の療養入院も難しくなる見込みです。この影響で、在宅療養が病後の健康保全の主軸になると考えられます。医療の高度化・複雑化とともに専門的知識が広範囲に多用されている現代において、大学病院から離れた地域で在宅療養する患者であっても、オンラインを用いた対話を通じて専門的知識を持つ医師や看護師から疾病・治療・看護に関する十分な説明を受けられるようにすることが重要です。また医療MaaS(Mobility as a Service)と呼ばれる医療機器と通信機器を装備した車両を用いて患者の居宅近傍まで赴く医療も計画しています。これは患者の体調変化について通信機器を介する医師との相談に加え、バイタルサイン(血圧、脈拍、呼吸数、経皮的酸素飽和度、意識状態)の評価や簡易血液検査(生化学検査、血糖など)、尿検査、超音波検査などを可能にし、必要ならば近隣の病院へ紹介する等の行動決定につなげることができ、患者の心理的・身体的・経済的負担が小さくなります。研究内容としては、生体センサーを用いたバイタルサインを含む生体情報のモニタリング技術、人工知能を応用して日常の健康状態の変動および異常を把握し早期アラートや治療法を提供する技術、近隣病院との連携を可能にする医療情報の「見える化」技術の開発等になる見込みです。この分野に精通した人材が参画してこの新しい医療モデルの構築に邁進して行きます。

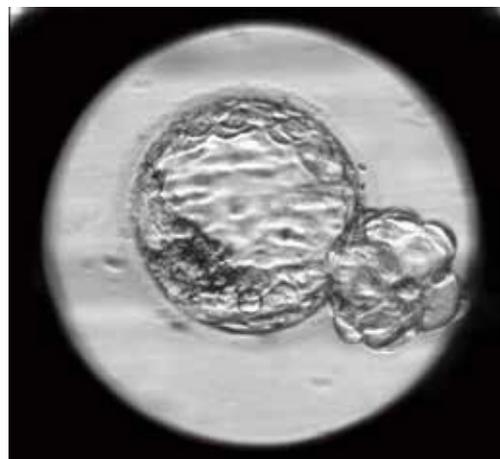


タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養

2022年4月から生殖補助医療(体外受精、顕微授精)が保険適応となり、社会での不妊治療への関心、期待が高まっています。本院では2023年7月1日から先進医療である「タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養」をその認定施設として行なっています。タイムラプス撮像法は一定時間ごとに同じ場所で写真を撮影し、それらをつなぎ合わせることで連続した動画のように見せる技術です。星空の観察や街並みの風景などの撮影にも用いられています。生殖補助医療ではタイムラプス装置搭載型培養器を用いることで、培養している受精卵・胚を外部のモニターで連続的に観察することに用いられています。培養器内は受精卵・胚にとって適切な環境に設定されており、従来のように観察のたびに培養器の外に取り出すと、光への曝露、温度変化、pH変化のため受精卵・胚に負担がかかります。タイムラプス装置搭載型培養器を用いることで受精卵・胚への負担を少なく、連続的に胚発育の観察が可能になります。通常の月経周期では1個の卵子が排卵し、精子と受精することで妊娠が成立します。生殖補助医療ではホルモン剤による卵巣刺激によって一度に複数の卵子を回収し、その後の体外受精、顕微授精で複数の受精卵・胚を獲得することができます。しかし、複数の胚を同時に子宮内に移植すると多胎のリスクがあり、基本的には1個の胚を移植することになります。そのため最も妊娠に至る可能性が高いと考えられる良好胚を選別することが重要となります。良好胚の選別にはある一点における胚の形態評価(Veeck分類、Gardner分類など)が広く普及しています。胚発育の連続的な観察は良好胚の選別に有用であるとの報告があり、本先進医療の導入によって不妊治療成績(妊娠率、着床率、生産率)のさらなる向上が期待されます。



タイムラプス装置搭載型培養器



タイムラプス装置搭載型培養器で孵化を開始した胚盤胞

内視鏡手術支援ロボット「Da Vinci」 「hinotori」

秋田大学医学部附属病院は、秋田県による支援のもと、内視鏡手術ロボット「Da Vinci Surgical System(以下、ダヴィンチ)」を2012年に秋田県内では初めて導入、手術を開始しました。現在は最新型のダヴィンチXiを使用しています。ダヴィンチは、ロボット手術部分には4本のアームがあり、そのうち3本には鉗子(かんし)やメス、残りの1本に3Dカメラが装着されており、操作部に座った執刀医は4本のアームを自分で遠隔コントロールしながら3D画面の高画質内視鏡下で手術を進めます。鉗子(かんし)が直線的な動きしかできない従来の腹腔鏡手術に対して、ダヴィンチの鉗子やハサミ等は、人間の手よりも可動域が広く、複雑な動きができる関節がついており、さらに手ぶれを補正する機能もついているため、より複雑で繊細な動きが可能となり、繊細でハイレベルな患者さんへの負担の少ない手術が可能になりました。秋田大学医学部附属病院では泌尿器科の前立腺全摘除から始め、腎臓、膀胱、食道、子宮、縦郭、肺へと適応を拡大し、年々件数が増え、現在4診療科で年間200例を超え、これまで1300例以上のダヴィンチ手術が行なわれました。今後もロボット支援手術の適応も症例数も拡大していくと思われ、本年6月からは遠隔医療やサージカルデータサイエンスも見据えて新規国産手術支援ロボット「hinotori」も導入しました。秋大病院のロボットによる低侵襲手術法は大きな変革期にきています。



秋田大学医学部附属病院では泌尿器科の前立腺全摘除から始め、腎臓、膀胱、食道、子宮、縦郭、肺へと適応を拡大し、年々件数が増え、現在4診療科で年間200例を超え、これまで1300例以上のダヴィンチ手術が行なわれました。今後もロボット支援手術の適応も症例数も拡大していくと思われ、本年6月からは遠隔医療やサージカルデータサイエンスも見据えて新規国産手術支援ロボット「hinotori」も導入しました。秋大病院のロボットによる低侵襲手術法は大きな変革期にきています。

夢をカタチにする、秋田が誇る異分野連携の力

—電界攪拌技術を応用した術中・迅速免疫組織化学染色—

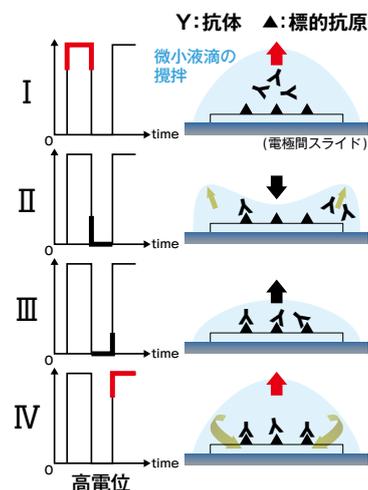
JCOG0802/WJOG4607L 試験は、肺野末梢小型(最大腫瘍径 2cm 以下)非小細胞肺癌において、肺機能を温存する区域切除術の優越性が初めて示された、日本が世界に先駆けて報告した臨床試験です。その肺区域切除術が根治術となり得るためには、本来 pN0(病理学的に肺門・縦隔リンパ節転移がないこと)が必須とされています。リンパ節の術中迅速診断を多用し、転移陽性の場合、標準治療である肺葉切除術に切り替えるなどの工夫がなされていますが、病理組織標本の最も基本的な染色方法であるヘマトキシリン・エオジン染色のみでは、節内辺縁に偏在する微小ながんの転移を同定できない問題を抱えます。微小転移を見つけるためには免疫組織化学染色(以下、免疫染色)が有用とされます。しかし、免疫染色は2時間以上の染色工程—診断時間を必要とするため、今までは術中迅速診断として利用できませんでした。

この問題を解決するため、秋田大学医学部胸部外科学講座が中心となり、秋田エプソンや秋田県産業技術センターと共同研究・技術開発を行い、「電界攪拌技術」を応用した迅速免疫染色装置を開発しました。電界攪拌技術とは、パルス状電界を印加することによって液滴に吸引力が作用、上下方向に振動し、スターラーなどの介在物なしに攪拌反応が進展する世界初の革新的な技術です。免疫染色工程を最短13分まで短縮し、術中に客観的かつ正確な病理診断を得ることに成功しました(Cancer Sci. 2023;114(2):702-711)。免疫染色による術中診断が可能となることで、がんの様々な生物学的特性を術中・短時間で理解でき、手術精度の向上、再手術が不要となるなど、医師や患者の負担が大幅に低減しました。

分子標的薬や免疫療法の進歩は治療概念を変えつつあります。しかし、分子生物学によるプレジジョン・メディシン(それぞれの患者に合った最適な治療を行う医療)は個別化医療に包含されています。秋田大学が誇る医工連携・個別化医療は、先人が積み上げた技術の継承と治療変革を融合する技術です。



ヒスト・テック®ラビート®
迅速免疫染色装置



秋田大学医学部附属病院感染制御部における COVID-19対策の取組み

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は秋田県にも甚大な影響を及ぼしてきましたが、本院(秋田大学医学部附属病院)は職員一人一人の力を結集して一丸となって新型コロナと戦い、秋田県の医療の維持に貢献してきました。感染制御部は本院が行ってきた新型コロナ対策の司令塔として昼夜を通して幅広く活動を行ってきました。

地域唯一の特定機能病院である本院の使命は、かかりつけ患者さんなどの本院でなければ診療できない患者さんを安全・確実に診療することです。このため本院では病棟1つを新型コロナ診療に専用化してシミュレーション訓練や準備を重ね、呼吸器内科や看護部が中心となって専門性や職種を横断した新型コロナ診療体制を新たに構築して対応してきました。救急科はECMO(体外式膜型人工肺)装着を要する最重症の新型コロナ患者さんを集中治療部で安全に診療する体制を整備してきました。実際に、他院で対応困難だった重症の新型コロナ患者さんの診療のほか、緊急手術や高難度処置などの本院でなければ実施できない高度医療を要する新型コロナ患者さんの診療を行ってきました。一方、本院でクラスターが発生すると県全体の医療に支障が生じてしまうため、職員はもちろんのこと患者さんやそのご家族らにもご理解・ご協力をお願いしながら、平時からの厳格な感染対策の徹底に努め、本院の機能を維持しています。

秋田大学の新型コロナ対策は本院での患者診療にとどまりません。秋田県は軽症者宿泊療養を積極的に活用して入院医療機関の負担を軽減してきましたが、秋田市の宿泊療養施設の入所者の健康管理や医療対応は本院の医師が行ってきました。県全体の半数以上のコロナ感染者を宿泊療養施設で受け入れていた時期もありました。新型コロナのワクチン接種については、秋田市保健所が実施する集団接種会場としての医学部体育館と接種担当医療者を提供し、秋田大学の職員・学生のみならず県内の他大学の学生・職員も対象とした職域接種も行いました。秋田県医師会の接種サポートチームにも多くの医療者を派遣し、全国トップレベルの秋田県の接種率の達成に貢献してきました。また私たちは県からの要請を受けて次世代シーケンサを活用して新型コロナウイルスのゲノム解析を行い、県内初のオミクロン株の検出の確定を行いました。新型コロナの扱いが変わった際には、感染対策や診療の要点について県内の医療機関向けの研修を実施しました。

これらは本院が果たしてきた秋田県の新型コロナ対策への貢献の一端に過ぎませんが、感染症は新型コロナだけではなくありません。本院はこれまでエボラ出血熱に代表されるハイリスク新興感染症に対応するため、県の要請を受けて専用の病棟を建設

し、大規模な合同訓練を実施して積年にわたって体制の整備を行ってきました。コロナ禍を糧として秋田県全体の感染症対策の基盤を一層強化するため、県の要請を受けて秋田大学は感染統括制御・疫学・分子病態研究センターを設立しました。感染制御部は中央検査部とともに同センターの感染統括制御部門を担当し、秋田の感染症対策の司令塔として感染対策の推進や人材育成を進め、秋田に先進的な感染対策を根付かせてその成果を秋田から発信していく体制作りに取り組んでいます。

COVID-19蔓延期における患者受入シミュレーション



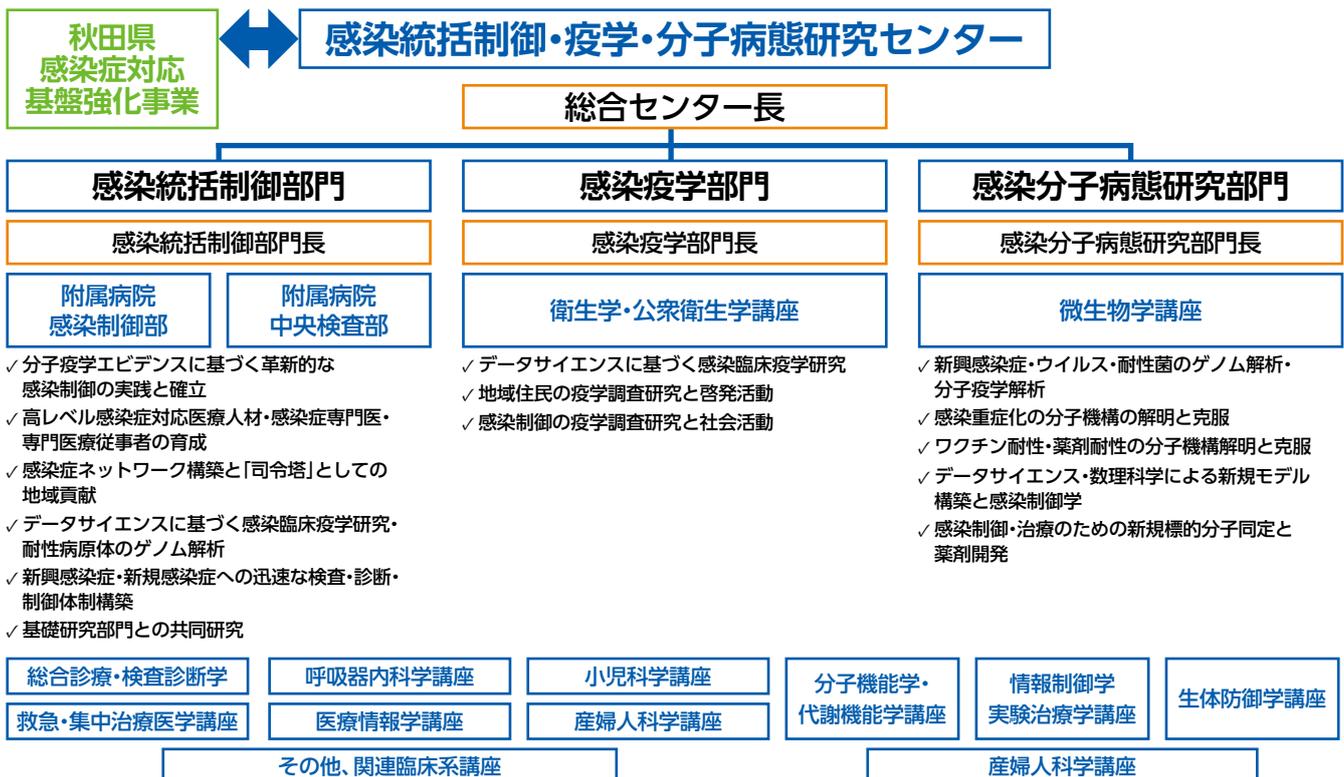
COVID-19患者の受入れ・X線撮影のシミュレーションと振り返りを行いました

感染統括制御・疫学・分子病態研究センターの開設

本センターは、臨床的には既存の感染症や新興感染症に対応でき、感染制御、感染分子疫学解析、予防戦略と対策を秋田県内関係機関と積極的に共有・還元しながら高レベル感染症対策医療人材を育成し、感染制御ネットワークの「司令塔」として秋田県全体の感染症対策基盤を強化することを目的に、令和5年3月に開設されました。

研究面では、感染疫学研究とその社会的影響を含めた疫学研究、次世代シーケンサ等による病原体(ウイルス・細菌等)ゲノム解析や感染疫学解析、ホストの細菌や細胞内情報伝達レベルの病態生理解析を進め、将来の感染症の予防と新規制御戦略や新規治療開発につながる臨床と基礎研究を統合的に進めます。本センターの設立により、臨床と基礎研究の融合と交流レベルを高め、臨床・研究の両面での活動成果を世界に発信するとともに、感染症対策医療人材、感染症研究者を育成し、感染症の臨床と基礎研究をリードする活動拠点とします。

以上の趣旨と目的達成のために、本センターには以下の3部門を置きます。



[1] 感染統括制御部門

人類は長年、ウイルスや細菌などの目に見えない微生物によって起こる感染症に苦しめられてきました。抗生物質やワクチンは感染症を劇的に減らしましたが、新型コロナは文字通り世界を一変させました。新興感染症は今後も出現すると予想されており、人類と感染症との闘いは今後もずっと続きます。

秋田大学は新型コロナについて秋田県全体の陣頭指揮を行いながら総力を挙げて診療やワクチン接種を引き受けてきました。実は私たちは新型コロナ流行前から、エボラ出血熱のような危険度の高い感染症患者が秋田に発生した場合に備えて専用の病棟を建設して訓練を重ね、これから海外に赴く方の感染リスクを下げるために渡航外来を開設して秋田を守ってきました。

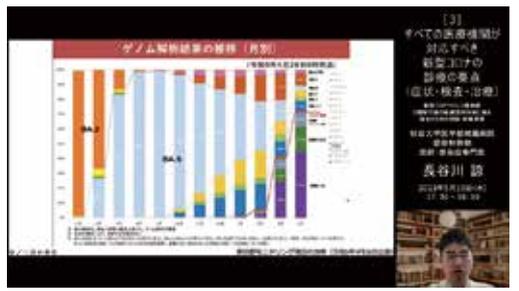
本部門は、これらの取組みを一層強化します。例えば、私たちは次世代シーケンサという先進技術を用いて新型コロナウイルスのゲノム解析を行って県内初のオミクロン株検出を迅速に確定させました。本部門ではこれを活用し、新興感染症の原因ウイルスや、効くはずの抗生物質が効かない薬剤耐性菌について、その拡がりの実態を把握して拡散を遮断するために分子疫学解析を行い、革新的な感染制御の確立を目指します。また、このような高度医療に対応しながら非専門家や一般の方々への教育啓発活動も行うことができる高レベル感染症対応医療人材の育成を行います。確かな専門性に根差した感染症ネットワークを構築し、秋田の「司令塔」として私たちは今後も秋田を感染症から守っていきます。

秋田大学 感染統括制御・疫学・分子病態研究センター Center for Integrated Control, Epidemiology and Molecular Pathophysiology of Infectious Diseases (CICEMPID, Akita U)

感染統括制御部門： 秋田大学医学部附属病院 感染制御部・中央検査部

“新型コロナウイルス感染症5類移行後の医療提供体制に係る強化のための相談・研修事業”

- [1] 5月 8日 (月) 17:30-18:30 嵯峨知生医師
新型コロナの厄介さと心構え -5類移行を踏まえて-
- [2] 5月 9日 (火) 17:30-18:30 佐藤智子看護師・石川陽子看護師長
PPE (個人防護具) の選択と着脱の実際 (訓練を伴う研修会)
- [3] 5月10日 (水) 17:30-18:30 長谷川諒医師
全ての医療機関が対応すべき新型コロナの診療の要点
- [4] 5月17日 (水) 17:30-18:30 石川陽子看護師長
新型コロナのゾーニングの基本



[2] 感染症学部門

本部門では、「データサイエンスに基づく感染臨床疫学研究」、「地域住民の疫学調査研究と啓発活動」、「感染制御の疫学調査研究と社会活動」の推進を目指します。

現在展開している『新型コロナウイルス感染症流行後のメンタルヘルスの影響評価』の具体的な事例として、以下2例紹介します。

1) 秋田県県内大学生のうつと自死念慮のモニタリング

秋田大学は新型コロナウイルス感染症下の初の全国緊急事態宣言時から毎年秋田大学の大学生を対象にうつと自死念慮のスクリーニング調査を毎年実施しています。全国緊急事態宣言1年後の評価によれば、PHQ(the Patient Health Questionnaire)-9日本語版が10点以上の中等度の抑うつ症状と自殺関連念慮が認められた割合は、一回目でそれぞれ11.5%と5.8%、二回目で16.7%と11.8%と二回目で大きく悪化していました。このような若者のメンタルヘルスへの影響は注意深く今後も観察していく必要があります。昨年にキャンパスにおける学生による学生のための自殺のゲートキーパー養成動画を作成、現在はその効果検証を実施しています。

2) 秋田県地域住民の社会的孤立の実態調査

新型コロナウイルス感染症流行をきっかけに地域におけるコミュニケーションが分断され、特に交通弱者であり、複数の健康問題を抱える高齢者が社会的孤立に陥っています。秋田県は広大な面積の上に、高齢者が容易に孤立してしまう地域構造があり、定期的なモニタリングと介入が必要です。現在、そのような社会的孤立をしている高齢者をいち早く発見し、社会的コミュニティに繋ぐ地域システムを構築すべく、高齢者を対象に社会的孤立のメカニズムについて質的調査を行っています。



[3] 感染分子病態研究部門

本部門では、感染症増悪因子を病原因子と宿主因子に分けて、感染症を総合的に理解することを目標としています。中でも「免疫体質」に興味をもって研究を行っています。ヒトの免疫には一定の方向性というものがあります。例えば、ほとんど風邪をひかない人は風邪をひかない体質、アレルギーにかかりやすい人はアレルギー体質、などと言います。免疫学的には、ウイルス感染と抗腫瘍免疫は同一の方向性を持つ免疫と考えられ、1型免疫と言われます。よって、ウイルス感染が重症化しにくい人は1型免疫が強いということになります。アレルギーや寄生虫感染症では2型免疫が誘導されますが、2型免疫の国民的増強は日本で大きな問題になっています。また、ただの風邪だったのに細菌合併症を起こしやすいという方も少なからずいらっしゃいます。このような場合は、抗細菌免疫である3型免疫が弱いことになります。私達は、このような免疫の方向性やその強弱を規定するメカニズムを、遺伝子改変マウスを用いた動物モデルにより研究し、感染症に対する基盤的知見を見出すことを目標にしています。また、他部門で得られた結果を動物実験で検証するために、各種動物モデルの作製を行っていく予定です。



▲マウス管理
◀体重測定



▲安全キャビネット

総合診療医センター

急速な高齢化と医療偏在に対応するには、多くの疾患や生活上の課題を総合的に診療し、地域包括ケアで中心的な役割を担う総合診療医の養成が必要です。2021年度から厚労省の事業認定を受け、秋田大学附属病院に「総合診療医センター」が設置されています。

当センターの考える総合診療医は、これからの地域医療の問題を解決する医師です。よくある健康問題にしっかり対応しながら、予防医学や行政のサポートにも精通して各科専門医や他の職種と連携し、病気の治癒を意味するCure(キュア)ではなく、その人らしい生活を守るCare(ケア)を目指します。

総合的に患者さんを診るマインドを持つことは全ての医師に必要なことですので、活動は多岐にわたっています。例えば、研修医や専門医の定期的なカンファレンスやセミナーを開催して、スキルや考え方を一緒に学びます。行政とも協力して、秋田大学だけでなく東北医科薬科大学、自治医科大学の医学部学生に体験型の実習や講義を行い、学びのサポートをしています。また、地域医療のモデルとなる湖東分室を設置し、地元朝市での健康相談、近隣集落での講演、医療計画策定への協力なども行われています。

秋田県で総合診療専門医になるためのシステムも見直しが始まっています。これまで県内には4つの研修プログラムがありましたが、当センターが中心となって一本化し、2023年度から県全域の病院で質の高い研修が行えるような体制を整えています。さらに、東北日本海側の医師のネットワーク(GP NET)を整備して、人に寄り添い、地域に根を張る総合診療医の裾野を広げる活動を行っています。GP NETについてはホームページ(<https://akitagnpnet.org>)などで随時紹介していますので是非ご覧ください。



詳細はGP NETのホームページを
ご覧ください



秋田大学医学部附属病院
総合診療医センター
Akita University Hospital General Physician Center

先端医学教育の推進

デジタル教育ネットワークにより県内教育医療機関と連携した 卒前・卒後・生涯教育をシームレスに充実して医療の質を向上する

新しい医学教育のモデルコアカリキュラム(令和4年度版)では、各分野においても患者さんを総合的に診るための診療能力や理想的なチームを構築する能力の修得とともに、引き続き生涯にわたってその資質を向上することで、質の高い教育と医療現場の構築につなげることが目標とされております。本学では、各種デジタル教育技術を推進して教育ネットワークを構築し、その活用による効果的な教育を学内各分野・部門や県内医療機関指導者と共有することで、卒前・卒後・生涯教育をシームレスに充実する役割を担う先進デジタル医学・医療教育学講座 / デジタル医学・医療教育推進センターを開設しました(令和4年12月)。この講座は、これまでの1年生(図2)や4年生(図3)からの実践ベースのシミュレーション教育にデジタル教材をハイブリッドするなど、各分野教育場面(下記1~4)におけるデジタル教育を卒前6年間にわたり充実することのみならず、卒後臨床研修~生涯教育にわたりシームレスな医学教育体制を構築し、将来にわたり医療の質を確実に向上していくことを目指しております。

デジタル医学・医療教育推進センターの役割(図1)



デジタル医学・医療教育推進センターのプロジェクト

1 講義 Lecture

オンライン講義活用による授業時間の有効活用、教材・課題・評価のデジタル化による症例ベースのアクティブラーニング充実、学内・県内医療機関指導者間の教育共有

2 演習 Training (図2・3)

各種演習前・後のデジタル教育、オンラインシミュレーションセミナーによる教育機会の充実、模擬患者・シナリオにおけるデジタル動画活用による演習の質向上

3 臨床実習 Clinical Training

オンラインによる学内・県内、国内・外の医療機関と連携した低学年からの経験値の向上、各科の事前オンライン教材による診療参加型臨床実習の充実、各分野重要所見のデジタル教材を使った経験保証

4 評価 Assessment

動画を活用した各種試験やパフォーマンス評価(OSCE等)の質向上、テスト機能による自己学修の向上、オンラインによる外部の模擬患者・評価者の活用充実 (ネーティブ英語医療面接OSCE等)、臨床実習等評価の指導医者間共有



図2 1年生からのデジタル動画教材とシミュレーターを使った腹部エコー演習の様子
医学科1年生の10月、11月には、デジタル動画教材を使って効果的に学ぶ心エコー・腹部エコー・肺の聴診演習が行われます。2年次の解剖学実習の前に臨床における重要ポイントを学ぶことができます。



図3 4年生後期からの診療参加型臨床実習では、必修症例の経験保証のために、解剖学や聴診スキル、エコー検査などに関する各種デジタル教育機器を併用して効果的に展開するシミュレーションセミナーが実施されています。

研究力向上へ向けて

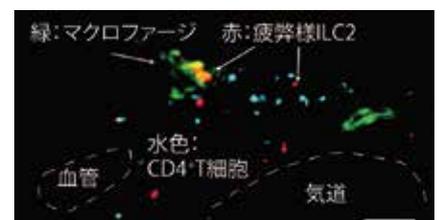
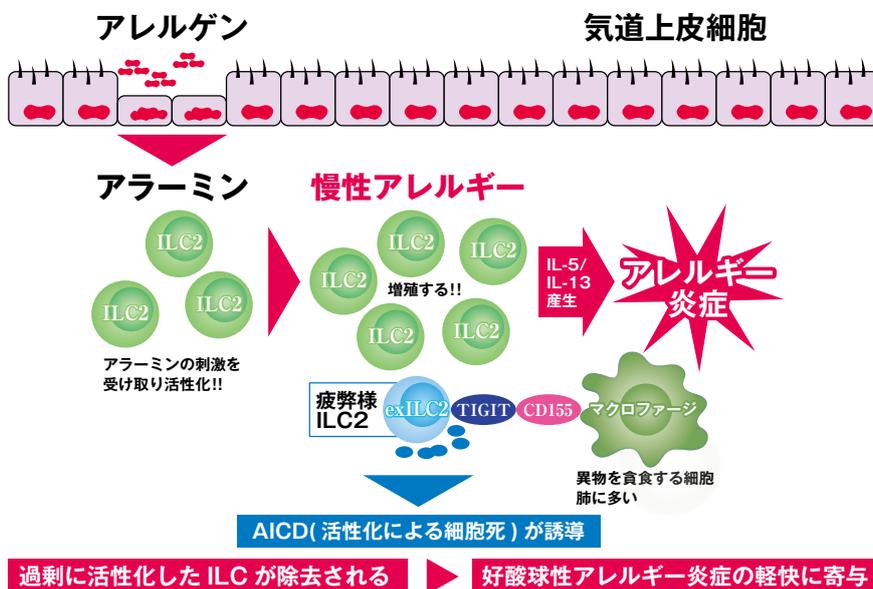
研究力向上へ向けた取り組み

研究力向上へ向けた取り組みとして、医学部学生のうちからの研究マインドの醸成が重要と考えており、医学科3年生での研究配属には力を入れており、3か月間の研究配属での研究活動が終了後には全体での成果発表を3日間かけて行います。研究配属終了後も放課後や週末に研究室に出入りして研究を継続することを奨励しています。そのような試みによりここ数年は学部学生が筆頭著者で論文発表を行う例も増えてきました。若手教員向けには、年1回の研究科長あるいは病院長による研究費支援を行っています。学内公募により選ばれた教員は基礎研究あるいは臨床研究において1年間の研究費の支援を受け、1年後に学内で成果発表を行い、さらに論文成果発表につなげてもらう制度です。この支援により論文発表だけでなく科研費など公的研究費の採択率向上にもつながっています。また、研究推進には教員や大学院生の研究に関する情報の共有が大事です。そこで、今年度から学術研究委員会の主催で毎月1回の「研究プロモートセミナー」を開催しています。セミナーでは学内共有機器の紹介、AI関連の先進的研究内容の紹介、あるいは科研費獲得の成功体験などさまざまな研究活動に関する有益な情報を共有すると同時に研究へのモチベーションアップを図っています。また、学内のバイオサイエンス教育・研究サポートセンターの分子医学部門、動物実験部門から毎月の情報提供を行っています。研究費獲得においては、学内ピアレビュー制度を構築し、研究費の申請書類をブラッシュアップすることにより採択率向上を図っています。このような取り組みによりさらなる研究力の向上を期待しています。

慢性気道アレルギー炎症を制御する新規メカニズムの解明について

微生物学講座では、「免疫体質」を制御する細胞である自然リンパ球の研究を行っています。例えば、アレルギー炎症を起こしやすい人は、アレルギー体質とよく呼ばれます。近年、このようなアレルギー体質の原因に2型自然リンパ球(ILC2)という免疫細胞が関与していることが明らかになってきました。ハウスダストや花粉のようなアレルゲンは、タンパク質分解酵素活性を持っているため、吸引されて気道に侵入すると、気道上皮細胞に傷害を及ぼします。すると、障害細胞からアラミンという液性タンパク質群(サイトカイン)が放出され、その受容体を持っているILC2が活性化します。ILC2は、その後増殖し、アレルギーの原因となるインターロイキン-5(IL-5)やIL-13という液性タンパク質を放出し、アレルギー炎症を誘導します。よって、喘息や好酸球性副鼻腔炎のような慢性的にアレルギー炎症が起きている場合、ILC2が過剰に増殖しIL-5やIL-13を過剰に産生することが問題となっていました。とはいえ、生体の機能を維持するためには、過剰に活性化したILC2を除去するメカニズムがあるはずですが、そのような生体の作用は今まで報告がありませんでした。そこで、私達はマウスに慢性気道アレルギー炎症を誘導し、活性化ILC2の運命決定機構を調べた結果、1)非常に活性化したILC2はTIGITという受容体を発現し「疲弊様ILC2」になること、2)疲弊様ILC2は近くにいるマクロファージにより除去されること、を明らかにしました。このような現象は今まで明らかになっておらず、「ILC2の活性化による細胞死」と名付けました。患者さんに、この細胞死を適切に誘導できれば、慢性アレルギー炎症の新しい治療法開発につながる可能性があります。

(参照:Yamada T et al, J Exp Med. 2023. <https://doi.org/10.1084/jem.20222005>)



睡眠薬の適正使用を目的とした診療報酬改定の効果検証

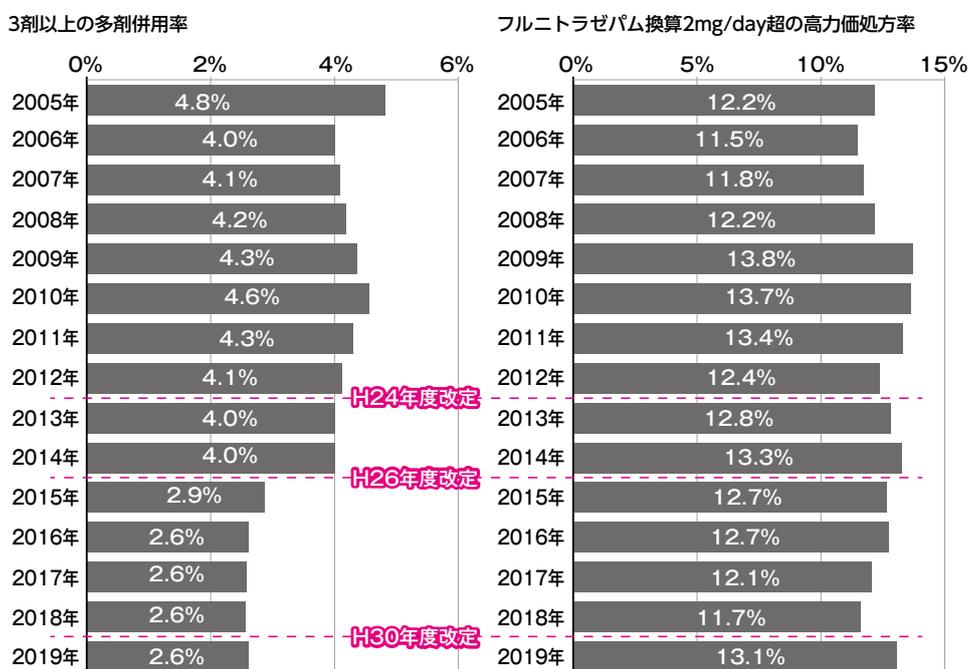
精神科学講座では睡眠薬の適正使用に関する研究を行っています。睡眠薬の多剤併用と長期処方副作用リスクの観点から推奨されていませんが、国内外において稀ならず認められております。日本では睡眠薬の適正使用を目的とした診療報酬改定がこれまでに計3回行われました。2012年の診療報酬改定は主に精神科医が対象で3剤以上の睡眠薬の多剤併用が行われた場合に診療報酬が減算されることになり、2014年にはその対象が全医師に広がりました。2018年は睡眠薬の長期処方がターゲットとなり、不眠に対して同一用法・同一用量のベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された場合に診療報酬が減算されることとなりました。

これまで睡眠薬の適正使用を目的とした政策介入の効果は十分検証されていなかったため、秋田大学精神科学講座の研究グループは日本医療情報センターのレセプトデータを用い、政策介入の効果検証を行いました。

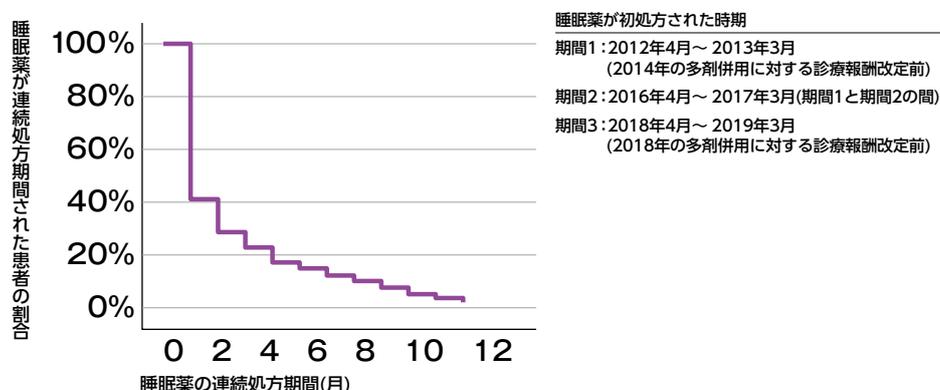
その結果、睡眠薬の多剤併用に対し、2014年の診療報酬改定は睡眠薬を3剤以上服用している者の割合を低下させたものの、副作用ハイリスク群と考える睡眠薬を高用量服用している者の割合を減らすことはできませんでした。また、睡眠薬の長期処方に関し、診療報酬改定は1年以上の睡眠薬の長期処方を減らす効果は見られませんでした。

本研究は、睡眠薬の適正使用を目的とした政策介入の効果が限定的であったことを示しました。今後、政策介入の見直しや、安全性の高い心理療法が普及することが望まれます。

3剤以上の多剤併用率は減ったが、高力価処方率に大きな変化はなかった



診療報酬改定は睡眠薬の長期処方を抑止する有意な効果がなかった



医学部附属病院総合待合ホール
Lounge hole

胃酸分泌抑制剤とClostridioides difficile感染症の関連

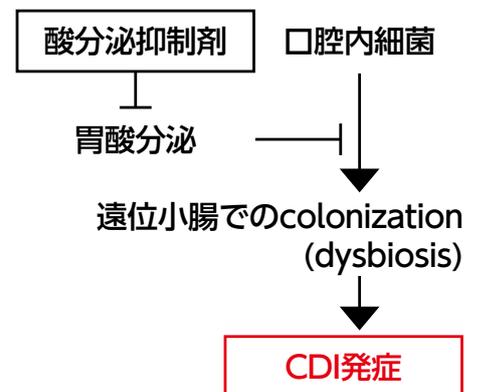
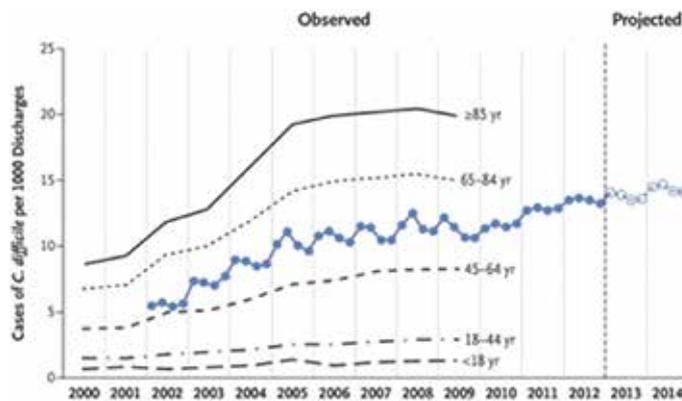
消化器内科では主に日常臨床の中で生じる疑問をもとにした研究を行い、診療の助けになるような情報の発信に努めています。プロトンポンプ阻害薬(PPI)に代表される酸分泌抑制剤の使用によって、腸管感染症、肺炎、骨粗鬆症など、様々な有害事象が生じることが懸念されています。Clostridioides difficile感染症(CDI)は世界の様々な地域における院内感染下痢症の最も重要な原因であり、近年増加傾向にあります。CDI症例の院内死亡率は15～20%とされ、無視できない疾患です。酸分泌抑制剤の使用で胃酸分泌が減少すると、胃酸による口腔内細菌の殺菌が不十分となり、腸内細菌叢が乱れることでCDIを惹起すると考えられています。

近年本邦で販売されたボノプラザン(VPZ)は、PPIよりも強力かつ長時間の酸分泌抑制作用を有し、より高いCDI発症リスクを呈することが予測されましたが、これに関する報告はなされていませんでした。

CDI発生率は国内で0.8～7.4例/10,000patient-days (PD)、欧米でも2.5～10.1/10,000PDと比較的低いため、大きなサンプルサイズでの検証が必要と考えられました。そこで我々は本邦の医療データベースを用い、年齢、併存疾患の重症度などをマッチさせた症例対照研究を行いました。CDI症例4,466例と対照13,220例について比較検討し、世界で初めてVPZとCDI発症の関連を示しました。しかし、VPZとPPIのオッズ比はそれぞれ1.4および1.3であり、これらの薬剤間に有意差は認めませんでした(Am J Gastroenterol, 2021 doi: 10.14309/ajg.0000000000001309)。

さらに、この結果を受けて、関連医療機関の5年間の全入院患者25,821名(CDI症例91名を含む)を対象に後ろ向きコホート研究を行いました。交絡をできる限り排除するために傾向スコアマッチングという手法で、年齢、抗菌薬の使用、併存疾患指数、入院診療科などの背景因子を揃えて、VPZとPPIを比較しましたが、先の研究と同じく、薬剤間に有意差は認めませんでした(J Gastroenterol Hepatol, 2023 doi: 10.1111/jgh.16169)。

VPZやPPIは消化性潰瘍の予防、胃食道逆流症などに頻用される薬剤です。これらの研究成果が、不必要な酸分泌抑制剤の使用に対する注意喚起として、明日からの臨床の一助になることを目指しています。



研究設備共同利用の促進

分子医学部門では、学内外の研究者に実験の場と共通実験機器の利用、受託分析サービスを提供しています。先進的分析機器として、生体中の微量な細胞群を分取できるセルソーター FACS Aria IIIやシングルセルソート対応のFACS Melody、超解像共焦点レーザー顕微鏡LSM980 with AiryScan2、プロテオーム解析やメタボローム解析に対応する質量分析システムZenoTOF7600、次世代シーケンス解析の試料調製にかかる労力と試薬を従来の数分の1以下に削減できる自動微量分注装置mosquitoやdragonflyをはじめとする次世代塩基配列解析支援システムを導入するなど、学内外の利用者の多様で先進的な研究を支援するための環境を整備しています。

動物実験部門では、マウス個別換気システムにより、免疫不全マウスを安定的に飼育することが可能で、患者由来腫瘍細胞を移植したマウス(PDX, patient-derived xenograft)を用いて腫瘍細胞への薬剤効果などを確認する研究が進められています。解析装置として、IVIS-imaging system、Vevo imaging system、3DマイクロX線CT装置などが設置されています。生殖工学では、ゲノム編集技術を用いてノックアウトマウスあるいはラットの作出が可能です。さらに、ES細胞を用いてキメラマウスを作製したのちに、それらの次世代である遺伝子組換えマウスを作出できるシステムを構築しています。また、実験動物への処置を当センタースタッフが受託する動物実験サポート受託業務を開始しますので、ぜひご利用をお願いします。



超解像共焦点レーザー顕微鏡LSM980 with Airyscan2：生細胞もダメージを少なく120nmの分解能で超解像イメージングが可能。



写真右側 セルソーター FACS Aria III：生体中の微量な細胞群を高速に選別し取得することができます。

写真左側前 セルソーター FACS Melody：細胞1個からの選別取得を行うシングルセルソートにも対応。

総合臨床教育研修センター あきた医師総合支援センター

本センターは医学部・附属病院各分野、県内医療機関、国内外の関連教育機関との密接な連携を推進し、これからの理想的な医師・医療者育成のニーズに対応した教育・研修を展開する目的で開設されました。附属病院の全診療科と看護部・薬剤部をはじめとする各部門及び医学科・保健学科から選出される委員で運営委員会が構成されており、卒前・卒後教育、卒後臨床研修・専門医研修、多職種連携教育、生涯教育、入学前教育、教育・研修のグローバル化、ライフワークバランス支援等を積極的に推進する役割を、秋田県の委託事業として設置されたあきた医師総合支援センターと連携しつつ担っています。

あきた医師総合支援センターでは、県、大学、県医師会、県内医療機関、各分野医療従事者の皆様、国内外の大学・医療機関との連携により、県内医師の研修体制の充実、各種専門研修プログラム、多職種連携教育の充実、男女共同参画・子育て中の女性医師・男性医師のサポート、各種研究会・シンポジウム推進活動など、本県の若手医師が安心してスキルアップを推進するための活動を行っています。近年では県内高等学校へ「Go!Go!Dr キャラバン」というイベント名で医師、看護師、診療看護師、臨床工学技士等による出前講義を実施し、医療従事者の仕事の魅力を伝える活動も開始しています。

特に、2つのセンターの活動の中心となる東日本最大規模の当院シミュレーション教育センターでは、ハワイ大学のシミュレーションセンターや国内外の機関と連携して教育・研修の充実を図っております。このシミュレーション教育センターの活用を中心に、最前線(地域包括ケア:医師・医療者として必須の総合的な診療能力習得)から最先端(各科高度専門医療)のあらゆる領域において、卒前教育から卒後研修・生涯教育にわたってシームレスに人間力・チーム力ある優れた医師・医療者を育成することにより教育を連鎖させ、将来に向かって教育・研修レベルの向上及び医療の充実を推進していきます。

卒前・卒後～多職種連携教育:総合臨床教育研修センターネットワーク

—大学(基礎・臨床)と各機関を統合して各科横断的な臨床教育実現へ—



- あきた医師総合支援センター HP <http://akitamd-support.com/>
- 問い合わせ先 電話:018-884-6430 E-mail:info@akitamd-support.com



緊急処置ラボには次世代患者シミュレータSimMan 3G 及び SimBabyが配置され、急変患者対応など多様なシナリオトレーニングが可能である。



臨床専門技ラボには各科専門シミュレータが配置されている。



秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センター外観

- シミュレーション教育センター HP <http://career.hos.akita-u.ac.jp/sim/>
- 問い合わせ先 電話:018-884-6427 E-mail:career@hos.akita-u.ac.jp



①医学部学生定員及び現員 Undergraduate Student Enrollment

令和5年4月1日現在 As of April, 2023

医学科							
区分 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
定員 Enrollment	124 人	129 人 {5}	769 人 {25}				
現員 Present Number	132 (47)	126 (55) {5(2)}	141 (52) {5(2)}	121 (46) {5(1)}	133 (46) {5(3)}	128 (49) {5(3)}	781 (295) {25(11)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は学士編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as students.

保健学科					
区分 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
定員 Enrollment	106 人	106 人	120 人 {14}	120 人 {14}	452 人 {28}
現員 Present Number	109 (90)	113 (92)	110 (90) {0(0)}	100 (79) {0(0)}	432 (351) {0(0)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は3年次編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as 3rd year students

②医学部学生入学状況 Applicants and Entrants for the School of Medicine

医学科					
入学年度 Year of Enrollment	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
定員 Freshman Enrollment Limit	129 人 {5}				
志願者数 Applicant	759 {115}	840 {138}	710 {126}	728 {111}	872 {127}
入学者数 Entrant	130(46) {5(3)}	129(51) {5(3)}	129(49) {5(1)}	129(55) {5(2)}	129(46) {5(2)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は学士編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as students.

保健学科					
入学年度 Year of Enrollment	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
定員 Freshman Enrollment Limit	120 人 {14}				
志願者数 Applicant	474 {5}	433 {0}	260 {1}	310 {0}	325 {1}
入学者数 Entrant	111(91) {3(2)}	107(84) {0(0)}	107(89) {0(0)}	109(87) {0(0)}	108(89) {0(0)}

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

{ }内は3年次編入学生で内数を示す。Figures in curly brackets indicate the number who entered the program as 3rd year students

③医学部年度別卒業生数

Number of Graduates from the School of Medicine

医学科					
卒業年度 Year of graduation	平成30年度 2018	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022
男 Male	70 人	67 人	73 人	72 人	79 人
女 Female	53	52	55	47	48
合計 Total	123	119	128	119	127

保健学科					
卒業年度 Year of graduation	平成30年度 2018	平成31年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022
男 Male	25 人	26 人	26 人	25 人	18 人
女 Female	83	85	100	83	87
合計 Total	108	111	126	108	105

④医学部地区別卒業生数

Regional Distribution of Graduates

医学科															
年度 Year	北海道 Hokkaido	秋田 Akita	青森 Aomori	岩手 Iwate	宮城 Miyagi	山形 Yamagata	福島 Fukushima	関東 Kanto	中部 Chubu	近畿 Kinki	中国 Chugoku	四国 Shikoku	九州・沖縄 Kyusyu/Okinawa	その他 Other	合計 Total
平成30年度 2018	1(0)	33(13)	3(1)	8(4)	3(0)	3(2)	1(0)	51(27)	16(5)	2(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	123(53)
平成31年度 2019	2(0)	41(16)	1(1)	3(2)	3(1)	4(2)	3(3)	41(21)	16(5)	0(0)	2(0)	0(0)	3(1)	0(0)	119(52)
令和2年度 2020	1(1)	34(14)	3(0)	13(2)	7(2)	4(2)	0(0)	50(28)	11(6)	2(0)	1(0)	0(0)	2(0)	0(0)	128(55)
令和3年度 2021	1(1)	28(11)	1(1)	3(1)	3(2)	2(2)	1(1)	64(25)	10(0)	2(1)	1(0)	0(0)	2(1)	1(1)	119(47)
令和4年度 2022	5(2)	24(9)	2(1)	9(4)	5(2)	1(0)	2(0)	43(15)	21(8)	9(3)	3(1)	0(0)	3(3)	0(0)	127(48)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

保健学科															
年度 Year	北海道 Hokkaido	秋田 Akita	青森 Aomori	岩手 Iwate	宮城 Miyagi	山形 Yamagata	福島 Fukushima	関東 Kanto	中部 Chubu	近畿 Kinki	中国 Chugoku	四国 Shikoku	九州・沖縄 Kyusyu/Okinawa	その他 Other	合計 Total
平成30年度 2018	2(1)	55(41)	3(3)	13(12)	3(3)	3(3)	2(2)	12(9)	11(8)	0(0)	1(1)	0(0)	1(0)	2(0)	108(83)
平成31年度 2019	7(4)	64(49)	5(4)	11(10)	4(3)	3(3)	0(0)	12(8)	3(3)	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	111(85)
令和2年度 2020	5(3)	70(56)	2(2)	11(10)	6(5)	3(2)	1(1)	20(14)	6(5)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	126(100)
令和3年度 2021	5(4)	53(41)	3(2)	8(8)	5(4)	7(6)	2(1)	10(7)	8(6)	2(1)	0(0)	0(0)	3(3)	2(0)	108(83)
令和4年度 2022	8(2)	54(10)	6(1)	7(0)	3(0)	7(0)	0(0)	10(2)	8(2)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	105(18)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

⑤大学院医学系研究科学生定員及び現員

Graduate Student Enrollment 令和5年4月1日現在 As of April, 2023

修士課程					
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number		合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year	
医科学 Medical Science	5人	10人	3 (1)人	2 (2)人	5 (3)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

博士前期課程					
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number		合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year	
保健学 Health Science	12人	24人	11 (6)人	16 (5)人	27 (11)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

博士後期課程						
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number			合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	
保健学 Health Science	3人	9人	4 (2)人	4 (2)人	5 (2)人	13 (6)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

博士課程							
専攻課程 Course	定員 Enrollment		現員 Present Number				合計 Total
	入学定員 Freshman Enrollment Limit	収容定員 All Graduate Admission Limit	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	
医学 Medical	30人	120人	30 (13)人	32 (12)人	35 (9)人	87 (28)人	184 (62)人

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

⑥大学院医学系研究科修了者数 Number of Graduates from the Graduate School of Medicine

区 分 Classification	平成 30 年度 2018	平成 31 年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022
修士課程(医科学専攻) A Master's Course of Medical Sciences	1 (0) 人	2 (2) 人	0 (0) 人	0 (0) 人	2 (0) 人
博士前期課程(保健学専攻) Master Course of Health Sciences	12 (7)	9 (6)	8 (2)	21 (15)	12 (3)
博士課程(医学研究科) A Doctoral Course for Medicine	—	—	—	—	—
博士課程(医学専攻) A Doctoral Course for Medicine	28 (5)	20 (3)	20 (6)	25 (11)	22 (8)
博士後期課程(保健学専攻) Doctor's Program in Health Sciences	4 (3)	4 (2)	2 (0)	4 (2)	3 (1)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

医学研究科は医学系研究科へ改組前の課程で専攻名は省略。Figures in Parentheses indicate the number of female of students.

⑦学位授与者数 Doctorate Conferred

区 分 Classification	平成 30 年度 2018	平成 31 年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022	累 計 Total
博士(医学) the doctorate in Medical Science						
課程博士 Graduates from Graduate School	28 (5) 人	20 (3) 人	20 (6) 人	25 (11) 人	22 (8) 人	1,093 (220) 人
論文博士 Granted by Merit Thesis	4 (0)	3 (2)	5 (2)	2 (0)	0 (0)	617 (66)
合計 Total	32 (5)	23 (5)	25 (8)	25 (8)	22 (8)	1,710 (286)
博士(保健学) Doctor of Health Science	4 (3)	4 (2)	2 (0)	4 (2)	3 (1)	42 (20)
修士(医科学) Master of Medical Science	1 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	31 (6)
修士(看護学) Master of Nursing	7 (6)	5 (4)	2 (2)	10 (8)	7 (3)	93 (79)
修士(リハビリテーション科学) Master of Rehabilitation Sciences	5 (1)	4 (2)	6 (0)	11 (7)	5 (0)	97 (33)

()内は女子で内数を示す。Figures in parentheses indicate the number of female students.

医学研究科は医学系研究科へ改組前の課程で専攻名は省略。Figures in Parentheses indicate the number of female of students.

①系統解剖 Systematical Anatomy

区 分 Classification	平成 30 年度 2018	平成 31 年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022
収集体数 No. of Cadavers Collected	30 体	30 体	26 体	31 体	29 体
返却数 No. of Cadavers Returned	0	0	0	0	0
収集計 Total No. of Cadavers Collected	30	30	26	31	29
実習体 No. of Cadavers Used	42	43	41	41	39
翌年度繰越 Carry-Over	112	119	86	76	64
遺体1体当たり学生数 No. of Students per Cadaver	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人

①病理解剖 Autopsy

区 分 Classification	平成 30 年度 2018	令和元年度 2019	令和 2 年度 2020	令和 3 年度 2021	令和 4 年度 2022
病理解剖件数 No. of Autopsy	23 件	15 件	18 件	19 件	14 件

②病理検査件数 Number of Cases of Surgical Pathology

令和4年4月 April 2022	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September	10月 October	11月 November	12月 December	令和5年1月 January 2023	2月 February	3月 March	計 Total
1,126 件	1,035 件	1,266 件	1,175 件	1,079 件	1,136 件	1,161 件	1,182 件	1,139 件	1,072 件	1,020 件	1,197 件	13,588 件



医学部霊堂
The Akita University School of Medicine Charnel House

①蔵書構成

Holdings

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

区分 Classification		和書 Japanese	洋書 Foreign	合計 Total
図書 Books		55,208 冊	56,671 冊	111,879 冊
雑誌 Journals	種類数 Kinds of Journals	2,080 種	1,790 種	3,870 種
	年間受入種類数 Annual Accession	285 種	27 種	312 種
電子ジャーナル Online Journals		1,614 種	6,419 種	8,033 種

②入館者数

Number of Visitors

年度 Year	開館日数 Days Opened	入館者数 Number of Visitors	1日平均 Visitors / Day
平成29年度 2017	337	101,696	301.8
平成30年度 2018	335	97,569	291.2
令和元年度 2019	339	80,171	236.5
令和2年度 2020	202	5,305	26.3
令和3年度 2021	244	9,633	39.5
令和4年度 2022	317	20,863	65.8



グループ学習室 Group Study Room



コモンズ Commons



閲覧室 Reading Room



医学図書館 Medical Library



ブラウジングコーナー Browsing Corner



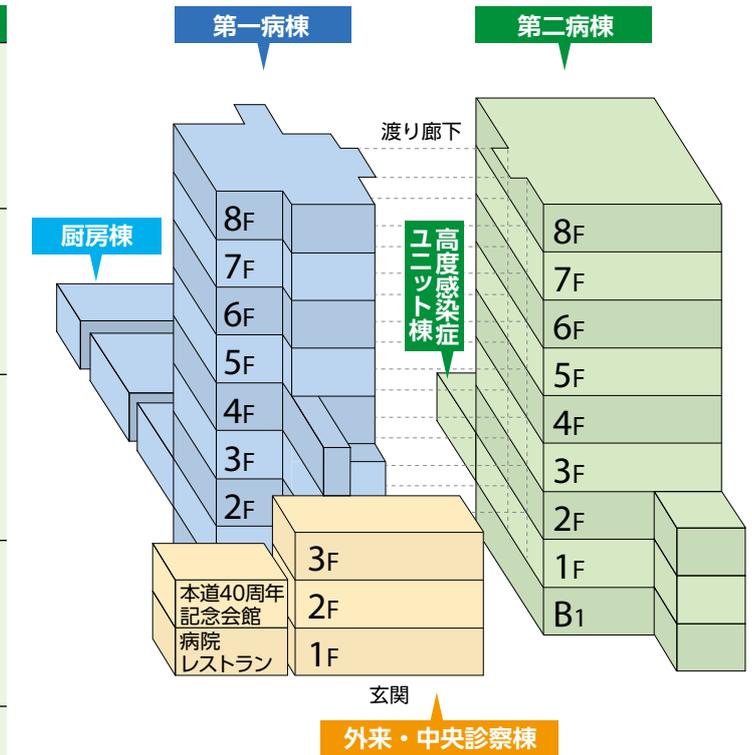
オープンスペース Open Space

① 病院案内図

Guide to Floors

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

	第一病棟	第二病棟
8F	整形外科 脳神経内科	血液内科 腎臓内科 リウマチ科
7F	眼科 呼吸器外科 乳腺・内分泌外科	呼吸器内科 耳鼻咽喉科
6F	消化器外科 食道外科	消化器内科 腫瘍内科
5F	小児科 小児外科 新生児集中治療管理室 (NICU) 回復期治療室 (GCU) ひまわり学級 けやき学級	産科 婦人科 周産母子センター 糖尿病・内分泌内科 老年内科
4F	脳神経外科 皮膚科 形成外科 臨床研究支援センター	循環器内科 心臓血管外科
3F	集中治療部 (ICU) 中央手術部	精神科
2F	血液浄化療法部 感染制御部 輸血細胞治療・ 移植再生医療センター	泌尿器科 糖尿病・内分泌内科 老年内科
1F	放射線診断科 放射線治療科 歯科口腔外科 麻酔科 救急科 アイソトープ検査室 理容室 栄養管理部 厨房棟	高度救命救急センター 救急外来 内視鏡・超音波センター 心大血管リハビリテーション室 高度感染症 ユニット棟
B1	医療情報部 医療情報室 放射線治療センター 中央材料部 SPDセンター	臨床工学センター



外來・中央診察棟				
皮膚科 形成外科 精神科 病理診断科・病理部 医療安全管理部	看護部 緩和ケアセンター 総合診療部	総合診療医センター		
消化器外科 食道外科 消化器内科 血液内科 腎臓内科 リウマチ科 泌尿器科	耳鼻咽喉科 歯科口腔外科 腫瘍内科 外来化学療法室 脳神経外科 麻酔科 漢方外来 小児科	小児外科 中央検査部 薬剤部		
地域医療患者支援センター・ がん相談支援センター 緩和ケア外来 がん看護外来 循環器内科 呼吸器内科 心臓血管外科 呼吸器外科 乳腺・内分泌外科 産科 婦人科 眼科 入院セット受付窓口	整形外科 脳神経内科 高齢者臨床検査科 認知症医療センター 糖尿病・内分泌内科 老年内科 リハビリテーション科・部 放射線診断科 放射線治療科 中央放射線部 栄養相談室	総合案内 医事課 防災センター 病院レストラン ATM 外来受付・会計 医療サービス室 院内図書室 コーヒーショップ 入院案内 警備員室・売店 入院セット受付窓口		

②診療科別病床数

Number of Beds for Each Clinical Division

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

区分 Classification	第一病棟 Wing No.1							第二病棟 Wing No.2							高度感染症 ユニット棟	合計 Total	
	1階 1st Fl	3階 3rd Fl	4階 4th Fl	5階 5th Fl	6階 6th Fl	7階 7th Fl	8階 8th Fl	2階 2nd Fl	3階 3rd Fl	4階 4th Fl	5階 5th Fl	6階 6th Fl	7階 7th Fl	8階 8th Fl	1階 1st Fl		
消化器内科 Gastroenterology	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	床	37床	37床
脳神経内科 Neurology							8										8
循環器内科 Cardiovascular Medicine										25							25
呼吸器内科 Respiratory Medicine													15				15
血液内科 Hematology																	
腎臓内科 Nephrology														42			42
リウマチ科 Rheumatology																	
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology								7			6						13
老年内科 Geriatric Medicine																	
消化器外科 Gastroenterological Surgery					28												28
呼吸器外科 Chest Surgery						12											12
食道外科 Esophageal Surgery					18												18
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrinologic Surgery						6											6
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery										25							25
脳神経外科 Neurosurgery			28														28
小児外科 Pediatric Surgery				6													6
小児科 Pediatrics				19													19
産科 Obstetrics																	
婦人科 Gynecology											37						37
精神科 Psychiatry									36								36
整形外科 Orthopedic Surgery							38										38
皮膚科・形成外科 Dermatology, Plastic and Reconstructive Surgery			16														16
泌尿器科 Urology									36								36
眼科 Ophthalmology						25											25
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology													34				34
放射線診断科 Diagnostic Radiology	10																10
放射線治療科 Radiation Oncology																	
麻酔科・救急科 Anesthesiology and Emergency Medicine	7																7
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine																	0
腫瘍内科 Clinical Oncology												10					10
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	10																10
共通 Common Ward	0	0	5	5	2	12	3	4	0	2	3	5	2	4			47
ICU		16															16
NICU				6													6
GCU				3													3
															2		2
合計 Total	27	16	49	39	48	55	49	47	36	52	46	52	51	46	2		615

③診療科別入院及び外来患者数

Number of Inpatients and Outpatients at Each Clinical Division

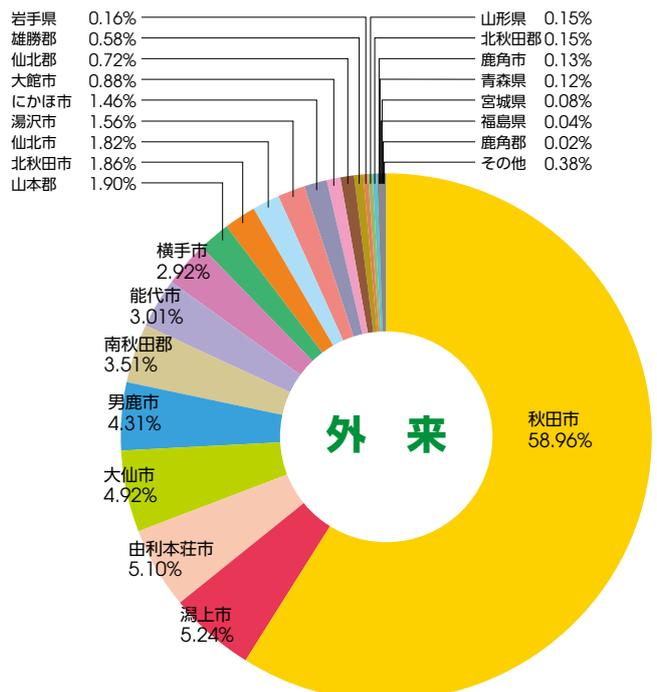
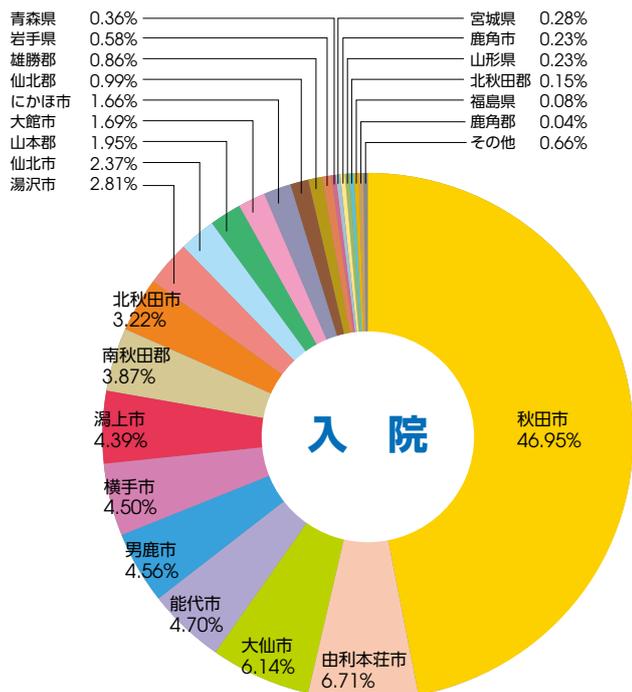
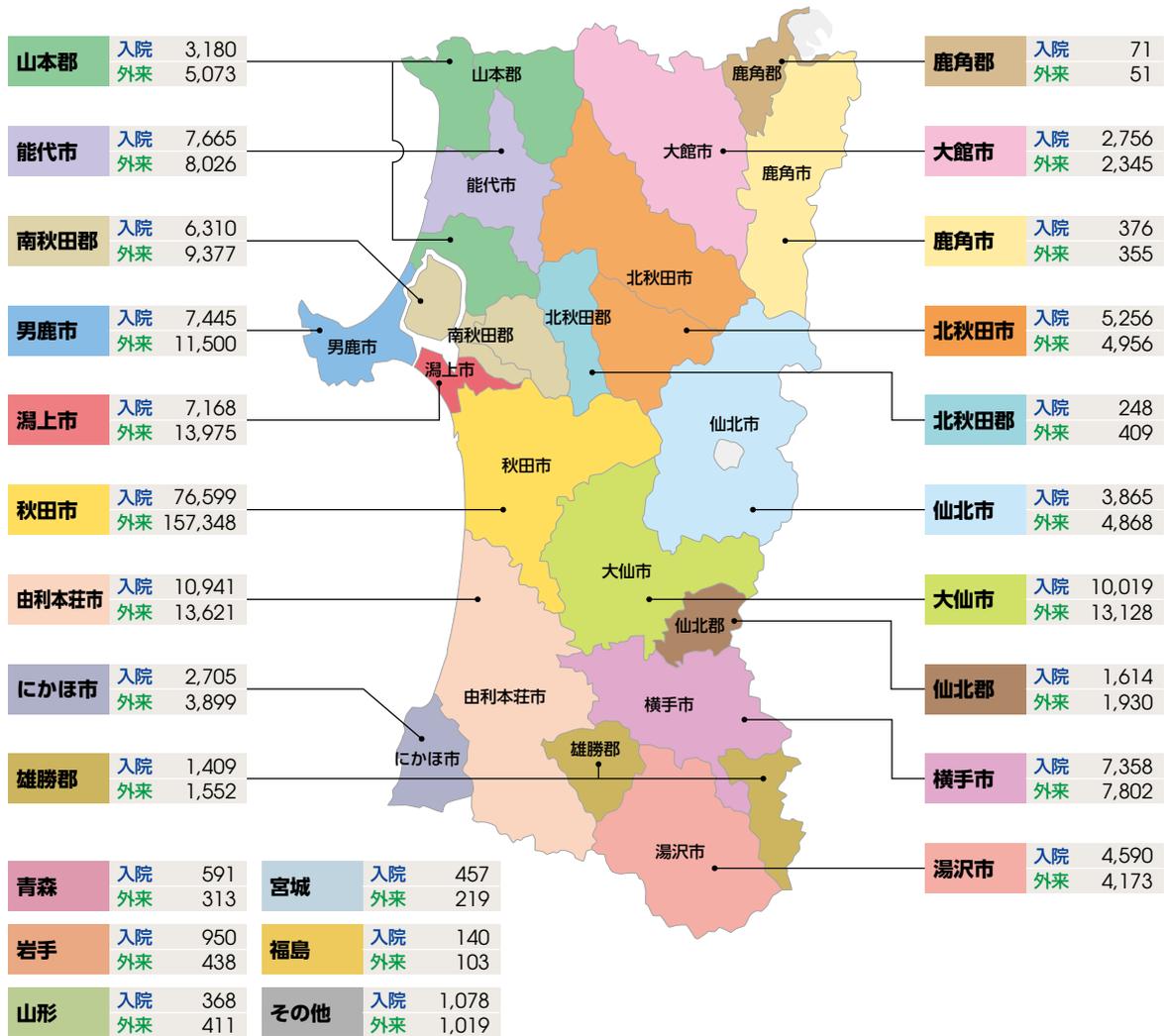
令和4年度 2022

区 分 Classification	入 院 Inpatients		外 来 Outpatients	
	延患者数 Total Number	一日当平均患者数 No.per day	延患者数 Total Number	一日当平均患者数 No.per day
消化器内科 Gastroenterology	11,037 人	30 人	17,072 人	70 人
脳神経内科 Neurology	1,996	5	4,591	19
循環器内科 Cardiovascular Medicine	9,189	25	9,152	38
呼吸器内科 Respiratory Medicine	5,108	14	4,296	18
血液内科 Hematology	8,913	24	6,100	25
腎臓内科 Nephrology	1,082	3	2,038	8
リウマチ科 Rheumatology	1,552	4	5,758	24
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology	3,240	9	13,256	55
老年内科 Geriatric Medicine	0	0	0	0
消化器外科 Gastroenterological Surgery	5,918	16	3,316	14
呼吸器外科 Chest Surgery	4,140	11	2,553	11
食道外科 Esophageal Surgery	4,888	13	1,950	8
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrinologic Surgery	1,527	4	7,055	29
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery	9,966	27	2,141	9
脳神経外科 Neurosurgery	9,062	25	5,377	22
小児外科 Pediatric Surgery	829	2	1,646	7
小児科 Pediatrics	8,723	24	8,170	34
産科 Obstetrics	5,088	14	3,832	16
婦人科 Gynecology	4,920	13	13,284	55
精神科 Psychiatry	9,378	26	13,972	57
整形外科 Orthopedic Surgery	11,909	33	15,831	65
皮膚科 Dermatology	3,876	11	17,814	73
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	512	1	1,296	5
泌尿器科 Urology	12,017	33	15,109	62
眼科 Ophthalmology	8,537	23	15,417	63
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	8,299	23	12,553	52
放射線診断科 Diagnostic Radiology	73	0	1,000	4
放射線治療科 Radiation Oncology	1,137	3	5,396	22
麻酔科 Anesthesiology	0	0	1,117	5
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	0	0	0	0
腫瘍内科 Clinical Oncology	3,952	11	3,053	13
救急科 Emergency Medicine	3,530	10	3,166	13
病理診断科 Clinical Pathology	0	0	0	0
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	2,673	7	13,742	57
高齢者臨床検査科 Geriatric clinical-examination	0	0	309	1
総合診療部 General clinical Division	0	0	1,422	6
漢方外来 Kanpo Clinic	0	0	468	2
緩和ケア外来 Palliative Care Center	0	0	425	2
合計 Total	163,071	444	233,677	964

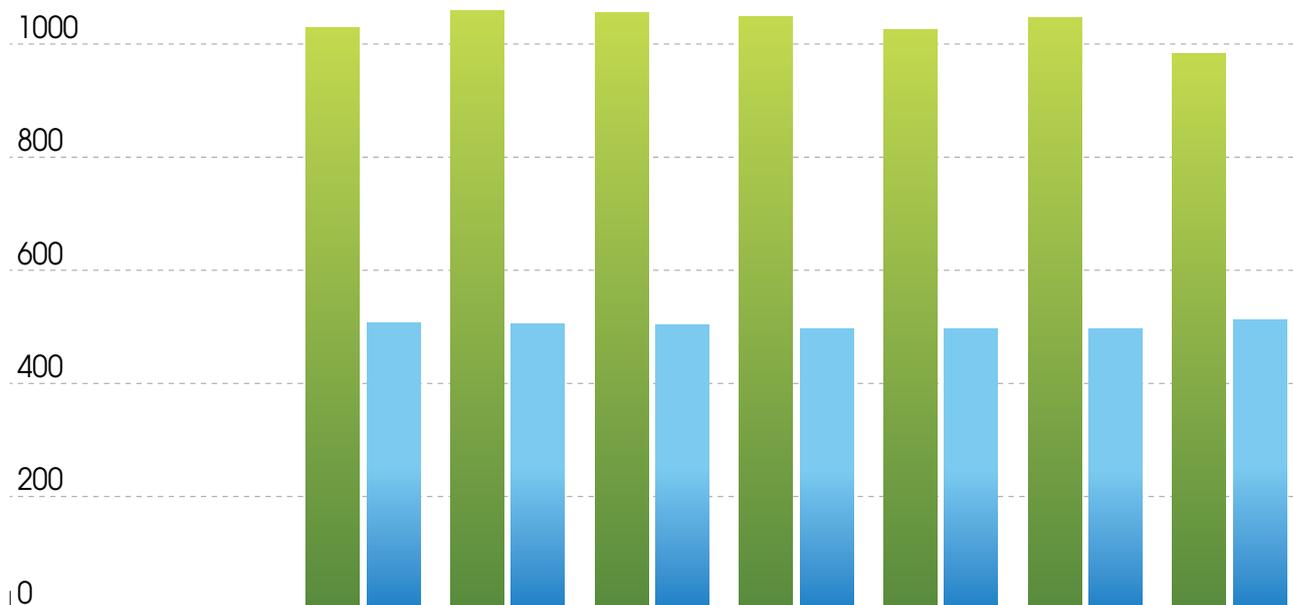
④地域別入院及び外来患者数

Distribution of Inpatients and Outpatients by Area

令和4年度 2022



⑤年度別1日平均患者数 Mean Number of Patients per day



区 分 Classification	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022
■ 外来患者数 Number of Outpatients	1,056 人	1,048 人	1,026 人	1,046 人	983 人	979 人	962 人
■ 入院患者数 Number of Inpatients	503	497	497	497	512	510	447

⑥中央検査部臨床検査件数 Number of Cases of Central Laboratory

令和4年度 2022

	一 般 General Survey	血 液 Hematology	臨床化学・免疫 Clinical Chemistry	細 菌 Bacteriology	生 理 Physiological examination	合 計 Total
令和4年4月 April 2022	9,382 ^件	33,041 ^件	195,154 ^件	2,650 ^件	1,580 ^件	241,807 ^件
5月 May	9,124	32,566	191,303	2,670	1,634	237,297
6月 June	9,799	32,972	202,402	2,781	1,837	249,791
7月 July	9,211	33,395	196,735	2,696	1,818	243,855
8月 August	10,469	32,992	200,179	2,886	1,691	248,217
9月 September	9,566	31,657	189,051	2,604	1,643	234,521
10月 October	9,881	33,017	196,760	2,727	1,736	244,121
11月 November	9,634	32,646	192,755	2,698	1,812	239,545
12月 December	9,648	33,135	195,751	2,652	1,704	242,890
3年1月 January 2021	9,539	32,864	189,627	2,892	1,678	236,600
2月 February	9,182	31,323	184,106	2,705	1,654	228,970
3月 March	10,893	35,613	212,875	2,634	1,924	263,939
合 計 Total	116,328	395,221	2,346,698	32,595	20,711	2,911,553

⑦手術件数及び麻酔件数

Number of Surgery and Anesthetic Cases

令和4年度 2022

区分 Classification	手術件数 Surgery Cases								麻酔件数 Anesthetic Cases		
	0～ 999点	1000～ 2999点	3000～ 4999点	5000～ 9999点	10000～ 14999点	15000～ 19999点	20000点 以上	計 Total	0～ 999点	1000点 以上	計 Total
消化器内科 Gastroenterology	0	4	112	341	266	135	202	1,060	5	11	16
神経内科 Neurology	0	1	3	3	0	0	2	9	55	1	56
循環器内科 Cardiovascular Medicine	8	7	75	81	6	10	553	740	102	166	268
呼吸器内科 Respiratory Medicine	0	0	3	1	3	0	4	11	1	0	1
血液内科 Hematology	3	4	8	1	3	20	39	78	15	7	22
腎臓内科 Nephrology	0	0	4	1	2	2	0	9	7	0	7
リウマチ科 Rheumatology	1	0	0	1	1	1	1	5	2	1	3
糖尿病・内分泌内科 Diabetes and Endocrinology	0	1	1	1	3	1	0	7	1	0	1
老年内科 Geriatric Medicine	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消化器外科 Gastroenterological Surgery	8	7	14	36	49	17	200	331	441	314	755
呼吸器外科 Chest Surgery	1	1	2	3	7	10	163	187	450	494	944
食道外科 Esophageal Surgery	1	2	6	12	15	3	33	72	165	96	261
乳腺・内分泌外科 Breast and Endocrinologic Surgery	0	11	14	25	4	18	111	183	11	129	140
心臓血管外科 Cardiovascular Surgery	263	33	190	222	16	4	535	1,263	46	978	1,024
脳神経外科 Neurosurgery	4	12	32	1	9	8	244	310	58	255	313
小児外科 Pediatric Surgery	8	4	9	24	15	1	25	86	50	98	148
小児科 Pediatrics	2	10	2	5	7	1	2	29	372	34	406
産科 Obstetrics	3	134	12	22	0	0	111	282	333	88	421
婦人科 Gynecology	1	121	709	487	290	42	328	1,978	316	596	912
精神科 Psychiatry	3	2	0	0	0	2	1	8	20	3	23
整形外科 Orthopedic Surgery	69	67	99	119	141	233	740	1,468	1,145	785	1,930
皮膚科 Dermatology	46	169	69	19	294	5	40	642	201	71	272
形成外科 Plastic and Reconstructive Surgery	25	64	59	38	31	7	24	248	9	73	82
泌尿器科 Urology	5	36	70	32	190	14	243	590	515	556	1,071
眼科 Ophthalmology	8	93	19	122	1,150	229	826	2,447	1,531	18	1,549
耳鼻咽喉科 Otorhinolaryngology	23	116	85	60	27	23	279	613	45	311	356
0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
放射線治療科 Radiation Oncology	0	1	1	5	3	3	0	13	0	0	0
麻酔科 Anesthesiology	0	0	0	0	0	0	0	0	687	0	687
リハビリテーション科 Rehabilitation Medicine	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腫瘍内科 Clinical Oncology	0	11	10	2	20	61	3	107	0	0	0
救急科 Emergency Medicine	156	43	139	8	27	18	59	450	24	90	114
歯科口腔外科 Dentistry and Oral Surgery	1,415	1,411	16	6	19	8	99	2,974	2,037	185	2,222
病理診断科 Clinical Pathology	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者臨床検査科 Geriatric clinical-examination	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 Total	2,053	2,365	1,763	1,678	2,598	876	4,868	16,201	8,644	5,360	14,004

※手術件数、麻酔件数は入院・外来の全算定件数を集計。

⑧処方枚数, 件数

Prescriptions and Related Data

令和4年度 2022

区分 Classification	枚数 Prescription	件数 Cases	品目数 Medicines	薬剤 Doses	院外処方枚数 Legal Prescription	
調剤薬 Dispensed Drugs	入院 Inpatients	97,871 枚	215,275 件	229,858 件	1,277,906 件	— 枚
	外来 Outpatients	9,128	25,760	27,145	458,503	128,892
	合計 Total	106,999	241,035	257,003	1,736,409	—
注射薬 Injections	入院 Inpatients	153,366	525,268	762,912	1,790,231	—
	外来 Outpatients	22,365	31,775	37,408	44,858	—
	合計 Total	175,731	557,043	800,320	1,835,089	—

⑨分娩件数

Number of Delivery Cases

令和4年度 2022

区分 Classification	件数 Cases
経膣分娩 Normal Vaginal delivery	145 件
吸引/鉗子分娩 Vacuum extraction/Forceps delivery	58 件
予定帝王切開 Elective cesarean section	54 件
緊急帝王切開 Emergent cesarean section	52 件
その他(骨盤位など) others	0 件
合計 Total	309 件

(うち死産 0件)
Included stillbirth

⑩X線撮影, CT, MRI, 核医学検査及び放射線治療件数

Number of X-ray Photography, CT, MRI, Nuclear Medicine and Radiotherapy Cases

令和4年度 2022

区分 Classification	入院件数 Inpatients Cases	外来件数 Outpatients Cases	合計件数 Total
一般撮影(単純) X-ray Photography	33,704 件	34,216 件	67,920 件
一般撮影(透視) X-ray Fluoroscopy	1,744	408	2,152
血管造影検査 Angiography	551	0	551
心臓カテーテル検査 Cardiac Catheterization	949	0	949
X線CT検査 X-ray Computed Tomography	4,940	13,933	18,873
MRI検査 Magnetic Resonance Imaging	1,836	5,623	7,459
核医学検査(in-vivo) Nuclear Medicine (in-vivo)	324	691	1,015
PET-CT検査 Positron Emission Tomography	7	1,123	1,130
放射線治療 Radiotherapy	6,346	3,964	10,310
放射線治療計画 Radiotherapy Planing	567	262	829
合計件数 Total	50,968	60,220	111,188

⑪医療機関の承認・指定・届出等の状況

Legal Authorization of Medical Service

令和5年4月1日現在 As of April 1, 2023

病院開設承認等 Authorization of Medical Services

区分	承認年月日
医療法による病院開設承認	昭和 51年 9月 1日
医療法による特定機能病院の名称の使用承認	平成 6年 1月 1日

法令による医療機関の指定等 Authorized Medical Functions

区分	指定等年月日
健康保険法による特定承認保険医療機関	平成 5年 5月 1日
国民健康保険法による特定承認療養取扱機関	平成 5年 5月 1日
消防法による救急医療（三次救急医療機関）	昭和 62年 1月 1日
生活保護法による医療機関	昭和 46年 4月 1日
障害者自立支援法による指定自立支援医療機関	平成 18年 4月 1日
感染症法による医療機関	昭和 46年 4月 1日
労働者災害補償保険法による医療機関	昭和 46年 4月 1日
原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律による医療機関（一般医療・認定医療・健康診断）	昭和 46年 4月 1日
母子健康法（妊娠乳児健康診断・養育医療）	昭和 46年 4月 1日
老人福祉法	昭和 47年 4月 1日
精神保健福祉法による医療機関	昭和 46年 4月 1日
戦傷病者特別援護法による医療機関	昭和 61年 10月 1日
臨床修練指定病院（外国医師・外国歯科医師）	昭和 63年 3月 29日
災害拠点病院（基幹災害医療センター）	平成 9年 1月 23日
都道府県がん診療連携拠点病院	平成 19年 1月 31日
都道府県肝疾患診療連携拠点病院	平成 20年 7月 31日
地域周産期母子医療センター	平成 26年 3月 24日
エイズ治療中核拠点病院	平成 27年 6月 1日
第一種感染症指定医療機関	平成 29年 4月 1日
がんゲノム医療連携病院	平成 30年 4月 1日
高度救命救急センター	令和 3年 4月 1日

健康保険法による各種基準の届出等 Authorization of medical standards in accordance with National Health Insurance

A. 入院基本料			算定開始年月日
区分			
特定機能病院入院基本料	一般病棟（対象：11病棟） （初回対象：13病棟）	7：1入院基本料	令和 3年 4月 1日 （初回平成20年6月1日）
	精神病棟	10：1入院基本料	平成 28年 12月 1日 （初回平成22年4月1日）
B. 入院時食事療養の基準			算定開始年月日
区分			
入院時食事療養（Ⅰ）・入院時生活療養（Ⅰ）			平成 21年 10月 1日
食堂加算（第一病棟5階、第二病棟7階を除く）			平成 21年 10月 1日
C. 厚生労働大臣の定める施設基準			算定開始年月日
区分			
地域歯科診療支援病院歯科初診料			平成 22年 4月 1日
歯科外来診療環境体制加算2			平成 20年 12月 1日
歯科診療特別対応連携加算			平成 22年 4月 1日
特定機能病院入院基本料 一般 7:1			令和 3年 4月 1日
特定機能病院入院基本料 精神 10:1			令和 3年 4月 1日
入院栄養管理体制加算			令和 4年 6月 1日
救急医療管理加算			令和 2年 4月 1日
超急性期脳卒中加算			令和 29年 9月 1日
診療録管理体制加算2			平成 13年 4月 1日
医師事務作業補助体制加算1 25:1			令和 3年 3月 1日
急性期看護補助体制加算 25:1（5割以上）			令和 4年 1月 1日
急性期看護補助体制加算 夜間 100対1			令和 4年 4月 1日
急性期看護補助体制加算 夜間看護体制加算			令和 4年 4月 1日
急性期看護補助体制加算 看護補助体制充実加算			令和 5年 4月 1日
看護職員夜間配置加算 12:1(1)			平成 28年 11月 1日
療養環境加算			令和 3年 9月 1日
重症者等療養環境特別加算			令和 3年 9月 1日
無菌治療室管理加算1			平成 24年 4月 1日
無菌治療室管理加算2			平成 28年 10月 1日
放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による治療の場合）			令和 5年 4月 1日
放射線治療病室管理加算（密封小線源による場合）			令和 4年 4月 1日
緩和ケア診療加算			令和 4年 8月 1日
精神病棟入院時医学管理加算			平成 12年 6月 1日
精神科身体合併症管理加算			平成 21年 11月 1日

区 分	算定開始年月日
精神科リエゾンチーム加算	令和 2年 1月 1日
医療安全対策加算 1	平成 20年 4月 1日
感染対策向上加算 1	令和 4年 4月 1日
指導強化加算	令和 4年 4月 1日
患者サポート体制充実加算	平成 24年 4月 1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	平成 18年 4月 1日
ハイリスク妊娠管理加算	平成 20年 4月 1日
ハイリスク分娩管理加算	平成 22年 8月 1日
地域連携分娩管理加算	令和 4年 4月 1日
術後疼痛管理チーム加算	令和 4年 12月 1日
後発医薬品使用体制加算 2	令和 4年 4月 1日
データ提出加算 2 200床以上	平成 24年 10月 1日
入退院支援加算 1	令和 4年 6月 1日
入院時支援加算	令和 4年 6月 1日
認知症ケア加算 1	平成 30年 10月 1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和 2年 4月 1日
精神疾患診療体制加算	平成 28年 4月 1日
精神科急性期医師配置加算 2 のイ	令和 2年 4月 1日
地域医療体制確保加算	令和 4年 5月 1日
特定集中治療室管理料 2	平成 30年 8月 1日
小児加算	平成 30年 8月 1日
早期離床・リハビリテーション加算 (※ ICU)	平成 30年 8月 1日
早期栄養介入管理加算	令和 4年 6月 1日
新生児特定集中治療室管理料 1	平成 24年 10月 1日
新生児治療回復室入院医療管理料	平成 24年 10月 1日
小児入院医療管理料 2	令和 3年 4月 1日
小児入院医療管理料 (プレイルーム加算)	令和 元年 12月 1日
無菌治療管理加算 1	令和 4年 4月 1日
養育支援体制加算	令和 4年 4月 1日
看護職員処遇改善評価料	令和 4年 12月 1日
外来栄養食事指導料 注 3 に規定する基準	令和 4年 4月 1日
心臓ペースメーカー指導管理料の柱 5 に規定する遠隔モニタリング加算	令和 2年 4月 1日
重度喘息患者治療管理加算	令和 2年 1月 1日
糖尿病合併症管理料	平成 26年 9月 1日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成 22年 4月 1日
がん患者指導管理料イ	平成 22年 4月 1日
がん患者指導管理料ロ	平成 26年 4月 1日
がん患者指導管理料二	令和 2年 4月 1日
移植後患者指導管理料 (臓器移植後)	平成 26年 10月 1日
移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植後)	平成 28年 5月 1日
糖尿病透析予防指導管理料	平成 24年 6月 1日
小児運動器疾患指導管理料	令和 4年 3月 1日
婦人科特定疾患治療管理料	令和 2年 10月 1日
腎代替療法指導管理料	令和 2年 4月 1日
一般不妊治療管理料	令和 4年 4月 1日
生殖補助医療管理料 1	令和 4年 4月 1日
二次性骨折予防継続管理料 1	令和 4年 4月 1日
院内トリアージ実施料	平成 28年 4月 1日
外来放射線照射診療料	平成 25年 4月 1日
外来腫瘍化学療法診療料 1	令和 4年 4月 1日
連携充実加算	令和 4年 9月 1日
ニコチン依存症管理料	平成 18年 6月 1日
療養・就労両立支援指導料の注 3 に掲げる相談支援加算	令和 4年 3月 1日
がん治療連携計画策定料	平成 23年 3月 1日
肝炎インターフェロン治療計画料	平成 22年 4月 1日
薬剤管理指導料	平成 22年 5月 1日
医療機器安全管理料 1	平成 20年 4月 1日
医療機器安全管理料 2	平成 22年 4月 1日
精神科退院時共同指導料 1	令和 2年 6月 1日
精神科退院時共同指導料 2	令和 2年 6月 1日
救急搬送診療料 重症者搬送加算	令和 4年 4月 1日
在宅挿入型補助人工心臓 (非拍動流型) 指導管理料	平成 28年 4月 1日
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	令和 元年 7月 1日
在宅経肛門的自己洗腸指導管理料	平成 30年 4月 1日
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)	平成 26年 4月 1日
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	令和 2年 4月 1日
遺伝学的検査	平成 28年 4月 1日
染色体検査の注 2 に規定する基準 絨毛染色体検査	令和 4年 4月 1日
BRCA1/2 遺伝子検査	令和 4年 4月 1日
がんゲノムプロファイリング検査	令和 4年 4月 1日
先天性代謝異常症検査	令和 2年 9月 1日
抗アデノ随伴ウイルス 9 型 (AAV9) 抗体	令和 4年 4月 1日
抗 HLA 抗体 (スクリーニング検査) 及び抗 HLA 抗体 (抗体特異性同定検査)	平成 30年 4月 1日
HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)	平成 22年 4月 1日
検体検査管理加算 (IV)	平成 22年 4月 1日
遺伝カウンセリング加算	平成 20年 6月 1日
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	令和 2年 4月 1日
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	平成 30年 11月 1日
時間内歩行試験	平成 24年 4月 1日
シャトルウォーキングテスト	平成 24年 4月 1日
胎児心エコー法	平成 22年 4月 1日
ヘッドアップティルト試験	平成 24年 4月 1日
人工臓器検査、人工臓器療法	令和 3年 1月 1日
皮下連続式グルコース測定	平成 26年 4月 1日
長期継続頭蓋内脳波検査	平成 12年 7月 1日
神経学的検査	平成 20年 4月 1日
補聴器適合検査	平成 15年 8月 1日
コンタクトレンズ検査料 1	平成 20年 5月 1日

区 分	算定開始年月日
小児食物アレルギー負荷検査	平成 27年 2月 1日
内服・点滴誘発試験	平成 22年 4月 1日
CT透視下気管支鏡検査加算	令和 2年 6月 1日
画像診断管理加算 2	令和 2年 10月 1日
ポジトロン断層撮影	平成 22年 4月 1日
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	平成 22年 4月 1日
CT撮影及びMRI撮影	令和 3年 3月 1日
冠動脈CT撮影加算	平成 20年 4月 1日
心臓MRI撮影加算	平成 20年 4月 1日
乳房MRI撮影加算	平成 28年 4月 1日
小児鎮静下MRI撮影加算	平成 30年 4月 1日
頭部MRI撮影加算	令和 4年 7月 1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成 22年 4月 1日
外来化学療法加算 1	平成 20年 4月 1日
無菌製剤処理料	平成 20年 4月 1日
心大血管疾患リハビリテーション料 (I)	平成 26年 4月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	令和 元年 5月 1日
運動器リハビリテーション料 (I)	平成 24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	平成 24年 4月 1日
がん患者リハビリテーション料	平成 26年 4月 1日
精神科作業療法	令和 3年 2月 1日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	平成 24年 4月 1日
医療保護入院等診療料	平成 16年 4月 1日
人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合 1、2)	平成 30年 4月 1日
導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算	令和 2年 11月 1日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成 24年 12月 1日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成 28年 4月 1日
磁気による膀胱等刺激法	平成 26年 4月 1日
センチネルリンパ節加算	平成 22年 4月 1日
皮膚移植術 (死体)	平成 30年 4月 1日
組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)	令和 3年 9月 1日
処理骨再建加算	令和 2年 4月 1日
骨移植術 (軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	平成 27年 4月 1日
椎間板内酵素注入療法	令和 2年 4月 1日
内視鏡下脳腫瘍生検術	令和 4年 4月 1日
内視鏡下脳腫瘍摘出術	令和 4年 4月 1日
脳刺激装置植込術 (頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	平成 12年 7月 1日
癒着性脊髄くも膜炎手術 (脊髄くも膜剥離検査を行うもの)	令和 4年 4月 1日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	平成 12年 7月 1日
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (過活動膀胱)	平成 31年 3月 1日
羊膜移植術	平成 28年 2月 1日
緑内障手術 (流出路再建術 (眼内法) 及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	令和 4年 4月 1日
緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	平成 26年 4月 1日
緑内障手術 (濾過腔再建術 (needle 法))	令和 4年 4月 1日
網膜再建術	平成 26年 4月 1日
植込型骨導補聴器 (直接振動型) 植込術	令和 4年 6月 1日
経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	令和 4年 6月 1日
人工中耳植込術	平成 30年 4月 1日
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	平成 14年 1月 1日
内視鏡下鼻・副鼻腔手術 V 型 (拡大副鼻腔手術)	平成 26年 4月 1日
経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術 (頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	令和 4年 4月 1日
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術	令和 2年 5月 1日
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	令和 2年 5月 1日
喉頭形成手術 (甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	平成 30年 9月 1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	令和 4年 4月 1日
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 (一連につき) (MRI によるもの)	平成 30年 4月 1日
乳房切除術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	令和 3年 5月 1日
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併用)	平成 22年 4月 1日
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単独)	平成 22年 4月 1日
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)	令和 3年 9月 1日
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 元年 11月 1日
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 元年 11月 1日
食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腎 (腎盂) 腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)	平成 30年 4月 1日
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	平成 30年 4月 1日
縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	令和 2年 4月 1日
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	令和 2年 4月 1日
胸腔鏡下弁形成術	令和 4年 1月 1日
経カテーテル大動脈弁置換術	令和 3年 12月 1日
胸腔鏡下弁置換術	令和 4年 1月 1日
経皮的僧帽弁クリップ術	令和 4年 6月 1日
経皮的中隔心筋焼灼術	令和 3年 6月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成 12年 4月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)	平成 30年 4月 1日
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術 (経静脈電極の場合)	平成 17年 4月 1日
植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術	平成 12年 5月 1日
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)	平成 21年 6月 1日
大動脈バルーンパンピング法 (IABP 法)	平成 12年 4月 1日
経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)	令和 4年 6月 1日
補助人工心臓	平成 12年 4月 1日
植込型補助人工心臓 (非拍動流型)	平成 24年 4月 1日
経皮的下肢動脈形成術	令和 2年 4月 1日

区 分	算定開始年月日
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）	令和 2年 4月 1日
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	令和 4年 4月 1日
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	令和 2年 12月 1日
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）	令和 4年 4月 1日
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	平成 28年 4月 1日
腹腔鏡下肝切除術	平成 24年 7月 1日
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	平成 30年 4月 1日
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術	平成 24年 4月 1日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	平成 24年 4月 1日
内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和 4年 4月 1日
腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）	平成 24年 4月 1日
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	平成 28年 4月 1日
腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	令和 4年 6月 1日
腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 2年 4月 1日
同種死体腎移植術	平成 20年 4月 1日
生体腎移植術	平成 20年 4月 1日
膀胱水圧拡張術	平成 22年 4月 1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	平成 30年 6月 1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	平成 24年 4月 1日
人工尿道括約筋植込・置換術	平成 24年 4月 1日
膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）	令和 5年 5月 1日
埋没陰茎手術	令和 5年 5月 1日
陰嚢水腫手術	令和 5年 5月 1日
精巣内精子採取術	令和 4年 6月 1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	平成 26年 4月 1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	平成 24年 12月 1日
腹腔鏡下仙骨脛固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 3年 5月 1日
腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和 元年 6月 1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援器具を用いる場合）	令和 4年 10月 1日
腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	令和 4年 4月 1日
胎児胸腔・羊水腔シャント術	平成 26年 4月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）	令和 4年 4月 1日
体外式膜型人工肺管理料	令和 4年 4月 1日
輸血管理料Ⅰ	平成 28年 3月 1日
輸血適正使用加算	平成 28年 3月 1日
貯血式自己血輸血管理体制加算	令和 4年 2月 1日
自己生体組織接着剤作成術	平成 24年 4月 1日
自己クリオプレシビナート作製術（用手法）	平成 30年 4月 1日
同種クレオプレシビナート作製術	令和 2年 4月 1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成 24年 4月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成 27年 3月 1日
コーディネート体制充実加算	令和 2年 6月 1日
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	平成 27年 3月 1日
麻酔管理料（Ⅰ）	令和 4年 4月 1日
麻酔管理料（Ⅱ）	平成 24年 8月 1日
放射線治療専任加算	平成 12年 4月 1日
外来放射線治療加算	平成 20年 4月 1日
高エネルギー放射線治療	平成 14年 4月 1日
1回線量増加加算	平成 30年 4月 1日
強度変調放射線治療（IMRT）	平成 27年 10月 1日
画像誘導放射線治療加算（IGRT）	平成 22年 4月 1日
体外照射呼吸性移動対策加算	平成 27年 6月 1日
定位放射線治療	平成 22年 4月 1日
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	平成 26年 8月 1日
画像誘導密封小線源治療加算	平成 30年 9月 1日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	平成 22年 4月 1日
デジタル病理画像による病理診断	平成 30年 4月 1日
病理診断管理加算2	平成 24年 4月 1日
悪性腫瘍病理組織標本加算	平成 30年 4月 1日
歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	平成 25年 6月 1日
精密触覚機能検査	平成 30年 12月 1日
歯科口腔リハビリテーション料2	平成 26年 4月 1日
歯周組織再生誘導手術	平成 20年 4月 1日
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	平成 24年 4月 1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成 8年 4月 1日
歯科技工加算1及び2	平成 22年 4月 1日

D. その他の届出			
区 分		算定開始年月日	
酸素単価		令和 3年 4月 1日	
先進医療			
先進医療の名称		実施診療科	算定開始年月日
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術		産科婦人科	平成 29年 12月 21日

公費負担医療 Social Medical Care Services
小児慢性疾患医療費助成制度
先天性血液凝固因子障害治療研究事業
難病医療費助成制度

①敷地面積 Campus

秋田市本道一丁目1番1号 1-1-1, Hondo, Akita City	168,219㎡
---------------------------------------	----------

②建物面積 Buildings

医学系研究科・医学部 Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine				
	区 分 Classification	構 造 Construction	建面積 (㎡) Building Area	延面積 (㎡) Total Area
管理棟1	Administration Building	RC2	599	1,247
基礎医学研究棟	Research Building for Basic Medicine	RC5	1,324	6,544
臨床医学研究棟	Research Building for Clinical Medicine	RC2～5	2,201	11,294
保健学科棟	Building for Health Sciences	RC2～4	2,614	6,135
医学系研究棟	Medical Research Building	RC4	655	2,535
実習棟・講義棟	Laboratory and Lecture Theaters for Basic Medicine	RC2～3	1,438	4,220
福利厚生施設	Medical School Hall (Student Welfare Facilities)	RC2	712	1,360
体育館	Gymnasium	RC1,S1	1,079	1,079
医学図書館	Medical Library	RC2	742	1,717
環境安全センター	Environmental Research Center	RC2	331	495
課外活動施設	Extracurricular Recreation Facilities	S2	211	396
霊堂	Charnel House	RC1	31	31
その他	Others		1,417	1,542
バイオサイエンス教育・研究サポートセンター	Bioscience Education and Research Support Center	—	—	—
動物実験部門	Animal Research Laboratory	RC2～3	1,312	3,510
放射性同位元素部門	Radioisotope Research Laboratory	RC2	451	780
分子医学部門	Molecular Medicine Laboratory	RC4-1	538	3,069
本道40周年記念会館	Hondo 40th Anniversary Memorial Hall	S2	662	1,148
合 計	Total		16,317	47,102

※RC:コンクリート造, S:鉄骨造, SRC:鉄骨鉄筋コンクリート造



病児・病後児保育室 ことりのおへや
"Kotori - no - oheya" Special Child Care Room

附属病院 University Hospital

		区 分 Classification	構 造 Construction	建面積 (㎡) Building Area	延面積 (㎡) Total Area
本院 Hospital Building	第一病棟	Wing No.1	SRC8-1	11,576	40,999
	外来診療棟	Outpatient Clinics			
	中央検査部	Central Laboratory Division			
	中央手術部	Central Operating Division			
	集中治療部	Intensive Care Unit			
	中央材料部	Central Supplying Division			
	中央放射線部	Central Radiology Division			
	リハビリテーション部	Rehabilitation Division			
	血液浄化療法部	Division of Blood Purification			
	病理部	Division of Clinical Pathology			
	薬剤部	Department of Pharmacy			
	輸血部	Division of Blood Transfusion			
	看護部	Division of Nursing			
	事務部	Administration Office			
	高エネルギー棟	High-Energy Supply Center			
	MRI-CT棟	MRI-CT Facility			
	PET-CT棟	PET-CT Facility			
厨房棟	Kitchen				
第二病棟 Wing No.2	病棟	Wards	SRC8-1	2,254	14,502
	高度救命救急センター	Advanced Emergency and Critical Care Center			
	内視鏡・超音波センター	Endoscopy and Ultrasonography Center			
	周産母子センター	Perinatal Medical Center			
	多用途型トリアージ施設				
	高度感染症ユニット棟	High Level Infectious Disease Unit	RC2-1	318	543
小 計	Subtotal			14,148	56,044
附属施設 Attached Facilities	シミュレーション教育センター	Medical Simulation Center	RC3	533	1,347
	管理棟2	Administration Building	S2	492	846
	エネルギーセンター	Power Supply Center	RC3,S1	1,348	1,681
	発電機室	Power Generator	RC1	273	282
	RI処理施設	RI Disposal Facility	RC1	197	241
	液酸タンク施設	Liquid Oxygen Tank	RC1	27	27
	看護師宿舎・本道寮	Nurse Dormitory・Residence Hall for Students	RC6	723	2,997
	ヘリポート・立体駐車場	Helipad / Parking Garage	S4	1,394	4,566
	立体駐車場	Parking Garage	S2	2,306	4,429
	塵芥収集施設	Waste Collecting Facility	S1	69	69
	職員厚生施設	Staff Welfare Facility	RC1,S1	338	334
	その他	Others		221	221
小 計	Subtotal			7,921	17,040
合 計	Total			22,069	73,084



JR秋田駅からのバス利用

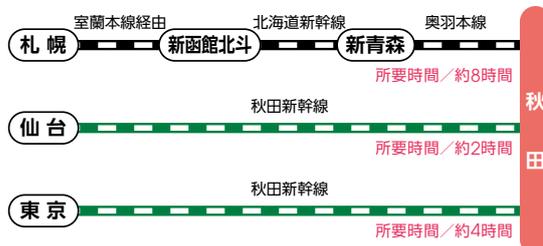
中央交通バス	東口	2番	西口	11番	12番
--------	----	----	----	-----	-----

※各線とも大学病院前下車 所要時間/約15分

名称 Name of Institution	所在地 Address	電話番号 Telephone
大学院医学系研究科・医学部 Graduate school of Medicine and Faculty of Medicine	〒010-8543 秋田市本道一丁目1番1号 1-1-1, Hondo, Akita City 010-8543	(018)-833-1166 (代)
医学図書館 Medical Library		(018)-884-6052
医学部附属病院 University Hospital	〒010-8543 秋田市広面字蓮沼44番2 44-2, Hiroomote, Aza, Hasunuma Akita City 010-8543	(018)-834-1111 (代)



鉄道



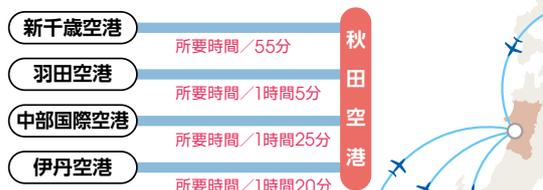
高速バス



高速道路



航空



秋田新幹線「こまち」
AKITA Shinkansen "Komachi"





1 基礎医学研究棟 Research Building for Basic Medicine	バイオサイエンス教育・研究サポートセンター Bioscience Education and Research Support Center	23 霊堂 Charnel House
2 基礎講義棟 Lecture Theaters for Basic Medicine	13 動物実験部門 Animal Research Laboratory	24 保育所 Day Care Center
3 学生実習棟 Building for Laboratory Work	14 放射性同位元素部門 Radioisotope Research Laboratory	25 特高受変電施設 High Voltage Transformer Facility
4 臨床医学研究棟 Research Building for Clinical Medicine	15 分子医学部門 Molecular Medicine Laboratory	26 看護師宿舎 Dormitory for Nurses
5 医学系研究棟 Medical Research Building	16 医学図書館 Medical Library	27 本道寮 Residence Hall for Students
6 保健学科棟 Building for Health Sciences	17 管理棟1 Administration Building	28 職員宿舎 Apartment Houses for Staff Members
7 附属病院外来棟 Outpatient Clinic	18 福利厚生施設 Medical School Hall (Student Welfare Facilities)	29 総合運動場 Athletic and Baseball Field
8 附属病院第一病棟 Wing No.1 of the University Hospital	19 体育館 Gymnasium	30 ヘリポート・立体駐車場 Helipad/Parking Garage
9 附属病院第二病棟 Wing No.2 of the University Hospital	20 エネルギーセンター Power Supply Center	31 立体駐車場 Parking Garage
10 シミュレーション教育センター Medical Simulation Center	21 発電機室 Power Generator	32 管理棟2 Administration Building
11 高度感染症ユニット棟 High Level Infectious Disease Unit	22 環境安全センター Environmental Research Center	33 バス停留所(大学病院前) Bus Stop
12 本道40周年記念会館 Hondo 40th Anniversary Memorial Hall		34 入構ゲート Entrance Gates



AKITA UNIVERSITYのAとUを外形^Aで表し、
MEDICINEのMを医学の象徴ギリシャ神話のアスクレピオスの杖に
聖なる蛇のからみつく姿に表現するとともに心臓を意味する。

This symbol represents Akita University by the frame, consisting of the letters A and U.
The School of Medicine is shown by 'M', the initial letter of 'medicine',
which symbolizes a heart as well as a sacred serpent curling around the stick of Asclepius,
the god of medicine in Greek mythology.



ISO9001:2015認証取得

認証範囲:医療サービス

本院では平成17年5月27日付で、品質管理の国際規格であるISO9001:2000(品質マネジメントシステム)の認証を取得し、平成30年5月30日付でISO9001:2015へのアップグレードを完了しております。

秋田大学 大学院医学系研究科・医学部 医学部附属病院 概要

AKITA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE AND FACULTY OF
MEDICINE AKITA UNIVERSITY HOSPITAL
GUIDE FOR VISITORS

発行/令和5年

Published 2023

編集/秋田大学医学系研究科・医学部総務課

General Affairs Division,
Akita University Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine

秋田大学大学院医学系研究科・医学部ホームページ

Akita University Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine home page

<http://www.med.akita-u.ac.jp>

秋田大学医学部附属病院ホームページ

Akita University Hospital home page

<http://www.hos.akita-u.ac.jp>



秋 田 大 学
大学院医学系研究科・医学部
医学部附属病院
2023概要
令和5年度

Akita University
Graduate School of Medicine and Faculty of Medicine
Akita University Hospital
GUIDE FOR VISITORS